

第6次柴田町総合計画策定に係るアンケート調査結果

(柴田町まちづくりアンケート調査)

1. 調査実施概要

1-1. 調査方法など

調査名	柴田町まちづくりアンケート調査
調査対象	18歳以上の柴田町民 無作為抽出による4,000名を対象
調査方法	郵送方式（郵便による調査票の発送・回収）
調査票発送	平成30年1月4日 4,000通発送
調査票回収	平成30年1月4日～2月28日（到着分まで） 当初、1月25日を締切としていましたが、締切後も一定数の回答があったため、回収期間を延長して対応しました。
発送資料	アンケート調査依頼票、アンケート調査票、御礼兼催促ハガキ文面
その他	アンケート調査回答御礼兼催促ハガキを1月18日に発送

1-2. 調査票回収状況

調査票発送数 (A)	4,000
うち不達数 (B)	9 宛先不明, 受取拒否により返送のあった調査票
有効発送数 (C)	3,991 (C) = (A) - (B)
調査票返送数 (D)	1,832
うち無効数 (E)	0 本人以外の代理回答など
有効回答数 (F)	1,832 (F) = (D) - (E)
回答率 (G)	45.9% (G) = (F) ÷ (C)

1-3. 調査報告書のみかた

報告書の構成

報告書は、各設問の集計結果及びその分析結果を掲載しています。

集計・分析結果を読む際の注意点

- 調査結果の図表は、原則として回答者の構成比（百分率）で表現しています。
- 「n」は、「number of case」の略で、構成比算出の母数を示しています。百分率による集計では、回答者（該当質問については該当者数）を100%として算出し、本文及び図表の数字に関しては、小数点第2以下を四捨五入し、小数点第1位までを表記しています。また、複数回答は、すべての比率の合計が100%を超えることがあります。
- 図表中の「0.0」は四捨五入の結果または、回答者が皆無であることを表しています。
- 母数が100未満の場合の百分率は、統計的誤差が大きい可能性があるため、数値の取り扱いにご注意ください。
- 「無効回答」は集計していないため、問ごとに「n」の値は異なります。
- クロス集計の分析値軸となる項目に、「無回答」がある場合、これを表示していません。このため、「全体」の数値と各項目の和が一致しない場合があります。
- 設問のカテゴリ項目（選択肢）が長い場合は、図表中及び文章中にて省略して表記している場合があります。
- 記入欄のある選択肢について
 - ◇ 記入欄のある選択肢に○印はないが、記入欄への記入があったものは、その選択肢を選択したものとして集計しました。

2. 調査結果

2-1. 回答者の属性について

有効回答数（1,832件）について、回答者の属性を分析した結果、以下のとおりとなりました。

問1.

(1) 性別

表1-1 問1(1)に関する全体集計結果

項目名	回答数	割合(%)
男性	821	44.8
女性	1,010	55.1
無回答	1	0.1
合計	1,832	

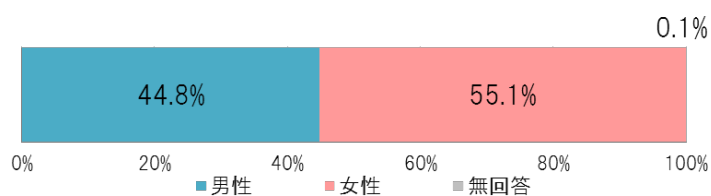


図1-1 問1(1)に関する全体集計結果

(2) 年代

回答者の年代は「60代」が30.2%と最も多く、次いで「70歳以上」が17.5%、「40代」が14.8%となりました。

表1-2 問1(2)に関する全体集計結果

項目名	回答数	割合(%)
10代	33	1.8
20代	151	8.2
30代	232	12.7
40代	272	14.8
50代	268	14.6
60代	554	30.2
70歳以上	321	17.5
無回答	1	0.1
合計	1,832	

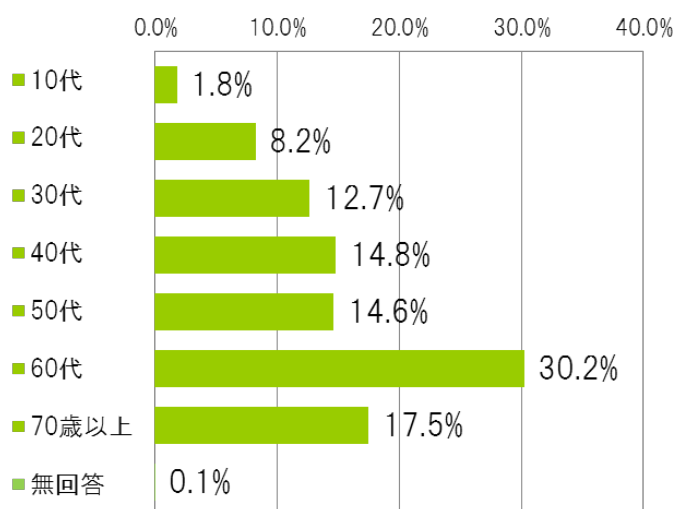


図1-2 問1(2)に関する全体集計結果

(3) 職業

「その他サービス業（公務員含）」が23.4%と最も多く、次いで「無職」が20.0%、「主婦（夫）」が18.8%、「製造業・建設業」が13.9%の順となりました。

表 1-3 問 1 (3) に関する全体集計結果

項目名	男性	女性	性別 無回答	合計	割合(%)
農林業	17	4	0	21	1.2
製造業・建設業	177	77	0	254	14.0
卸小売・飲食業	27	14	0	41	2.3
その他サービス業等(公務員含)	249	175	0	424	23.4
パートタイム・アルバイト	58	192	0	250	13.8
主婦(夫)	2	343	0	345	19.0
無職	232	131	0	363	20.0
学生, その他	53	55	0	108	6.0
無回答	4	4	1	9	1.2
合計	819	995	1	1,815	

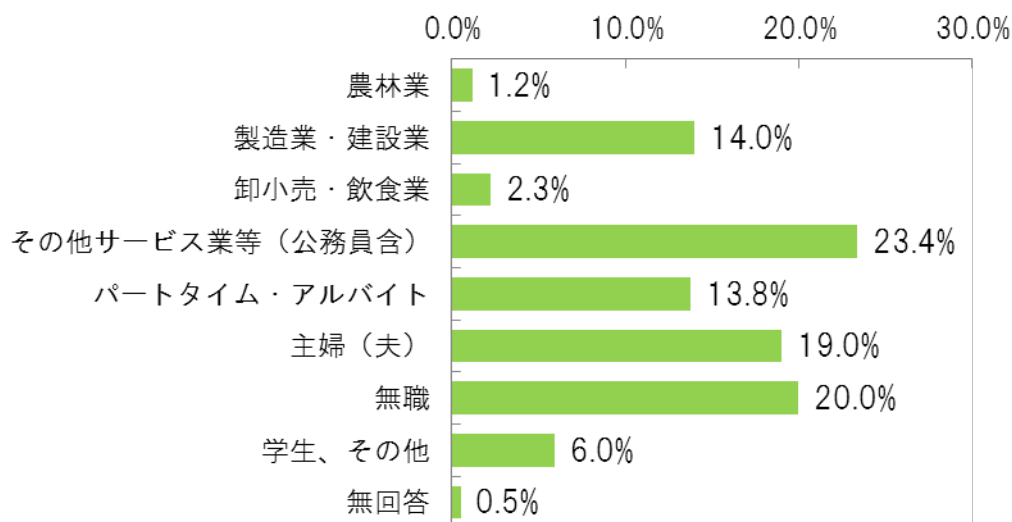


図 1-3 問 1 (3) に関する全体集計結果

<欄外への記載のあった内容>

共同作業所／会社員／趣味で小物作り／観光協会で販売しております。／タクシー乗務員だよ／
シルバー人材センター／年金生活／ドライバー／自由業／生活キャリア関連

(4) 家族構成

「配偶者」が 65.1%と最も多く、次いで「両親」が 22.7%、「その他」が 22.5%、「小学生」が 11.2%の順となりました。

表 1-4 問 1 (4) に関する全体集計結果

項目名	回答数	割合(%)
同居の家族はいない	189	10.3
配偶者	1,192	65.1
乳幼児(0歳から小学校就学前)	188	10.3
小学生	205	11.2
中学生	122	6.7
高校生	113	6.2
大学生・専門学校生	80	4.4
両親	415	22.7
祖父母	95	5.2
その他()	413	22.5

<「その他」の回答内容>

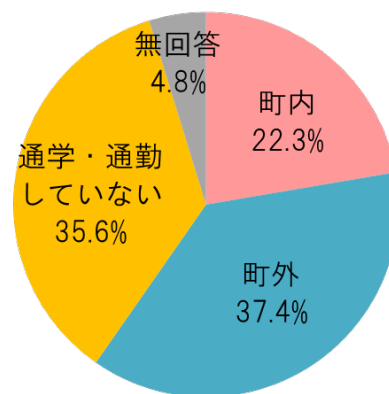
- ・ 子供(息子/娘夫婦) (30)
- ・ 嫁(2)
- ・ 子供と義弟
- ・ 娘, 孫 20 才夫
- ・ 息子(44)
- ・ 子供(28)
- ・ 両親と兄弟(姉妹) (2)
- ・ 娘(31)
- ・ 子供と孫 (2)
- ・ 母と兄弟(姉妹) (5)
- ・ 第一子を妊娠中
- ・ 社会人(成人)の子供(39)
- ・ 母と子供(3)
- ・ 孫(3)
- ・ 社会人(31)
- ・ 義父母
- ・ 息子夫婦と娘
- ・ 会社員(12)
- ・ 母(義母) (31)
- ・ 長女夫婦と次女
- ・ 自営業
- ・ 父(義父) (4)
- ・ 夫, 娘, 息子夫婦
- ・ 無職
- ・ 夫婦
- ・ 息子(娘)夫婦, 孫(6)
- ・ 婚約者
- ・ 夫(2)
- ・ 息子, 娘孫
- ・ 高齢者世帯
- ・ 妻
- ・ 祖母(私) 67 才
- ・ 犬 2 匹
- ・ 夫と娘 (2)
- ・ 曾祖母
- ・ 大人
- ・ 同居人(3)
- ・ 祖母, 曾祖母
- ・ 3 名
- ・ 兄弟(姉妹) (37)
- ・ 祖母, 兄
- ・ 2 人
- ・ 弟夫婦
- ・ 叔母, 兄
- ・ 1 人 (2)
- ・ 弟, 母, 祖母
- ・ いとこ(2)

(5) 通学先・通勤先の状況

通学先・通勤先は「町内」が22.3%、「町外」が37.4%、「通学・通勤していない」は35.6%となりました。

表1-5 問1(5)に関する全体集計結果

項目名	回答数	割合(%)
町内	408	22.3
町外	683	37.4
通学・通勤していない	650	35.6
無回答	87	4.8
合計	1,828	



■町内 ■町外 ■通学・通勤していない ■無回答

図1-5 問1(5)に関する全体集計結果

(6) 居住年数

居住年数は、「20年以上」が66.4%と最も多く、次いで「10年以上，20年未満」が15.2%、「5年未満」が10.2%、「5年以上，10年未満」が8.2%の順となりました。

表1 問1(6)に関する全体集計結果

項目名	男性	女性	性別 無回答	合計	割合(%)
5年未満	81	106	0	187	10.2
5年以上10年未満	49	101	0	150	8.2
10年以上20年未満	112	166	0	278	15.2
20年以上	578	637	0	1,215	66.4
無回答	0	0	1	1	0.1
	821	1,010	1	1,831	

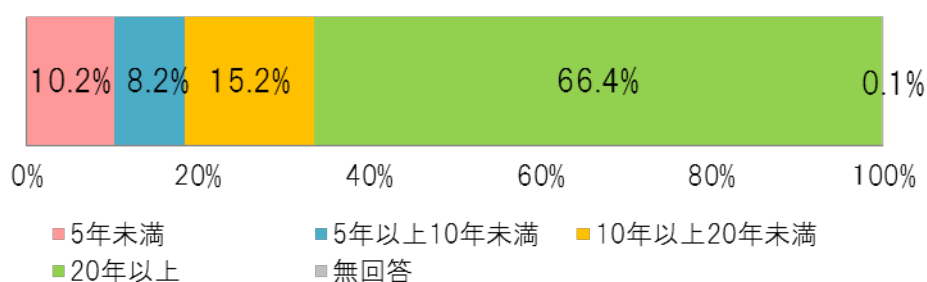


図1-6 問1(6)に関する全体集計結果

(7) 居住地区

「船岡小学校区」の居住者が500件となり全体の27.3%となりました。最も回答が少ない柴田小学校区については74件で4.0%の回答となりました。

表1-7-1 問1(7)に関する全体集計結果

項目名	男性	女性	性別 無回答	合計	割合(%)
船岡小学校区	220	280	0	500	27.3
東船岡小学校区	118	151	0	269	14.7
槻木小学校区	223	262	0	485	26.5
柴田小学校区	44	30	0	74	4.0
船迫小学校区	160	221	0	381	20.8
西住小学校区	36	45	0	81	4.4
無回答	20	20	1	41	2.2
	801	1,009	1	1,831	

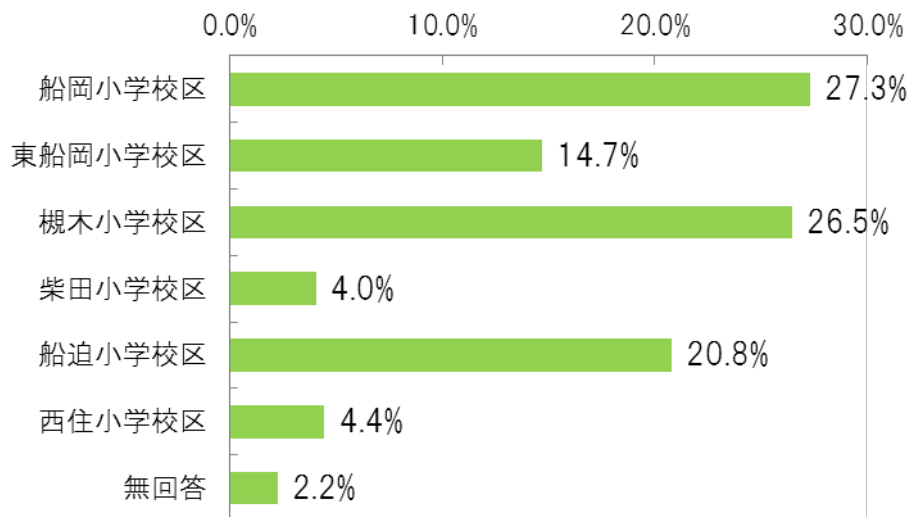


図1-7-1 問1(7)に関する全体集計結果

表 1-7-2 問 1 (7) に関する年代別集計結果

(単位：%)

項目名	年 代							年齢 無回答
	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70歳 以上	
船岡小学校区 (n=500)	2.0	8.2	12.4	17.2	16.0	28.2	16.0	0.0
東船岡小学校区 (n=269)	3.0	8.6	13.0	16.4	14.5	26.8	17.8	0.0
槻木小学校区 (n=485)	1.0	8.5	14.6	13.4	15.1	31.5	15.9	0.0
柴田小学校区 (n=74)	1.4	4.1	4.1	13.5	17.6	39.2	20.3	0.0
船迫小学校区 (n=381)	1.8	9.4	12.3	11.3	11.3	33.1	20.7	0.0
西住小学校区 (n=81)	1.2	3.7	16.0	18.5	18.5	23.5	18.5	0.0
無回答 (n=41)	2.4	9.8	2.4	19.5	12.2	34.1	17.1	2.4

2-2. まちへの定住意向と魅力などについて

町への定住意向と魅力などを問う設問を4件設定しました。一部設問については、男女別、年代別の分析を行いました。その結果は以下のとおりです。

問2. あなたは、全体的にみて柴田町は住みやすいと思いますか。(1つに○印)

- | | |
|--------------|------------------|
| 1. 住みやすい | 2. どちらかといえば住みやすい |
| 3. どちらともいえない | 4. どちらかといえば住みにくい |
| 5. 住みにくい | |

柴田町の住みやすさについては「どちらかといえば住みやすい」が42.5%と最も多く、次いで「住みやすい」が32.8%となっており、あわせて75.3%の回答となっています。

一方、「どちらかといえば住みにくい」(5.2%)と「住みにくい」(2.2%)の合計は7.4%となっています。

表2-1 問2に関する全体集計結果

項目名	男性	女性	性別 無回答	合計	割合(%)
住みやすい	269	331	1	601	32.8
どちらかといえば住みやすい	338	441	0	779	42.5
どちらともいえない	148	140	0	288	15.7
どちらかといえば住みにくい	44	51	0	95	5.2
住みにくい	13	27	0	40	2.2
無回答	9	20	0	29	1.6
	821	1,010	1	1,832	

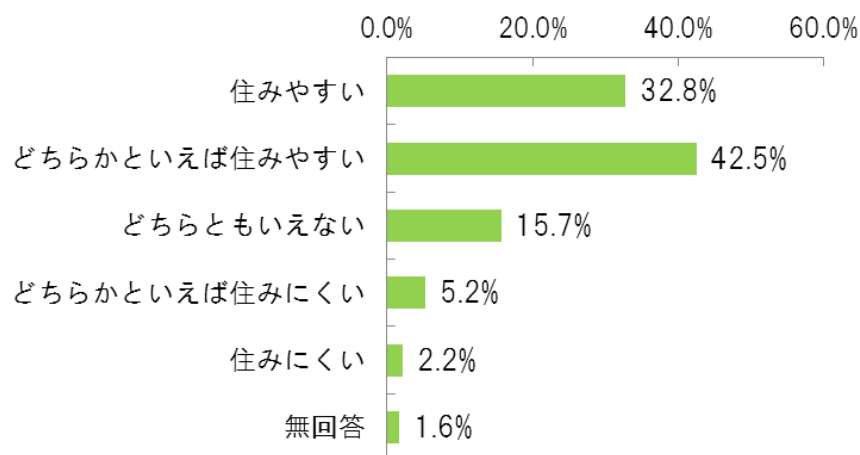


図2-1 問2に関する全体集計結果

表 2-2 問 2 に関する年代別集計結果

(単位：%)

項目名	高 ← 住みやすさ → 低					無回答
	住みやすい	どちらかといえ ば住みやすい	どちらともい えない	どちらかといえ ば住みにくい	住みにくい	
10代 (n=33)	12.1	51.5	12.1	9.1	12.1	3.0
20代 (n=151)	23.2	45.7	19.2	9.9	1.3	0.7
30代 (n=232)	26.3	49.6	14.2	6.5	2.6	0.9
40代 (n=272)	32.4	42.3	16.2	5.1	2.2	1.8
50代 (n=268)	34.3	39.9	18.3	4.1	1.5	1.9
60代 (n=554)	35.7	40.4	15.9	4.5	1.8	1.6
70歳以上 (n=321)	38.0	41.1	12.8	3.7	2.5	1.9
無回答 (n=1)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

表 2-3 問 2 に関する居住区別集計結果

(単位：%)

項目名	高 ← 住みやすさ → 低					無回答
	住みやすい	どちらかといえ ば住みやすい	どちらともい えない	どちらかといえ ば住みにくい	住みにくい	
船岡小学校区 (n=500)	38.6	43.6	12.2	3.6	1.4	0.6
東船岡小学校区 (n=269)	30.1	45.7	16.0	5.2	1.9	1.1
槻木小学校区 (n=485)	27.0	44.9	18.8	6.0	1.2	2.1
柴田小学校区 (n=74)	27.0	31.1	21.6	10.8	6.8	2.7
船迫小学校区 (n=381)	35.4	40.7	14.2	5.0	3.1	1.6
西住小学校区 (n=81)	37.0	35.8	16.0	3.7	3.7	3.7

問3. あなたは、柴田町のどのようなところが魅力だと思いますか。(3つまで○印)

- | | |
|---------------------|------------------------------------|
| 1. 自然環境が豊かである | 2. 上・下水道の整備やごみ処理対策など、快適な生活環境が整っている |
| 3. 道路や鉄道等交通の利便が高い | 5. 消防・防災・防犯体制が整っている |
| 4. 情報通信網が整っている | 7. 介護福祉環境が整っている |
| 6. 保健・医療環境が整っている | 9. 教育環境が整っている |
| 8. 子育て環境が整っている | 11. 活力ある企業や産業がある |
| 10. 文化・スポーツ環境が整っている | 13. 働く場が確保されている |
| 12. 買物の便がよい | 15. 行政サービスが充実している |
| 14. 人情味や地域の連帯感がある | 17. 特に魅力を感じない |
| 16. 魅力ある観光地がある | |
| 18. その他() | |

まちの魅力については、「自然環境が豊かである」が 54.2%と最も多く、次いで「買物の便がよい」が 38.0%、「道路や鉄道等交通の利便が高い」が 28.8%となっています。

表 3-1 問3に関する全体集計結果

n=1,829

項目名	回答数	割合(%)
自然環境が豊かである	992	54.2
上・下水道の整備やごみ処理対策など、快適な生活環境が整っている	375	20.5
道路や鉄道等交通の利便が高い	527	28.8
情報通信網が整っている	15	0.8
消防・防災・防犯体制が整っている	86	4.7
保健・医療環境が整っている	92	5.0
介護福祉環境が整っている	83	4.5
子育て環境が整っている	63	3.4
教育環境が整っている	54	3.0
文化・スポーツ環境が整っている	63	3.4
活力ある企業や産業がある	54	3.0
買物の便がよい	695	38.0
働く場が確保されている	42	2.3
人情味や地域の連帯感がある	199	10.9
行政サービスが充実している	30	1.6
魅力ある観光地がある	270	14.8
特に魅力を感じない	234	12.8
その他()	57	3.1
無回答	50	2.7

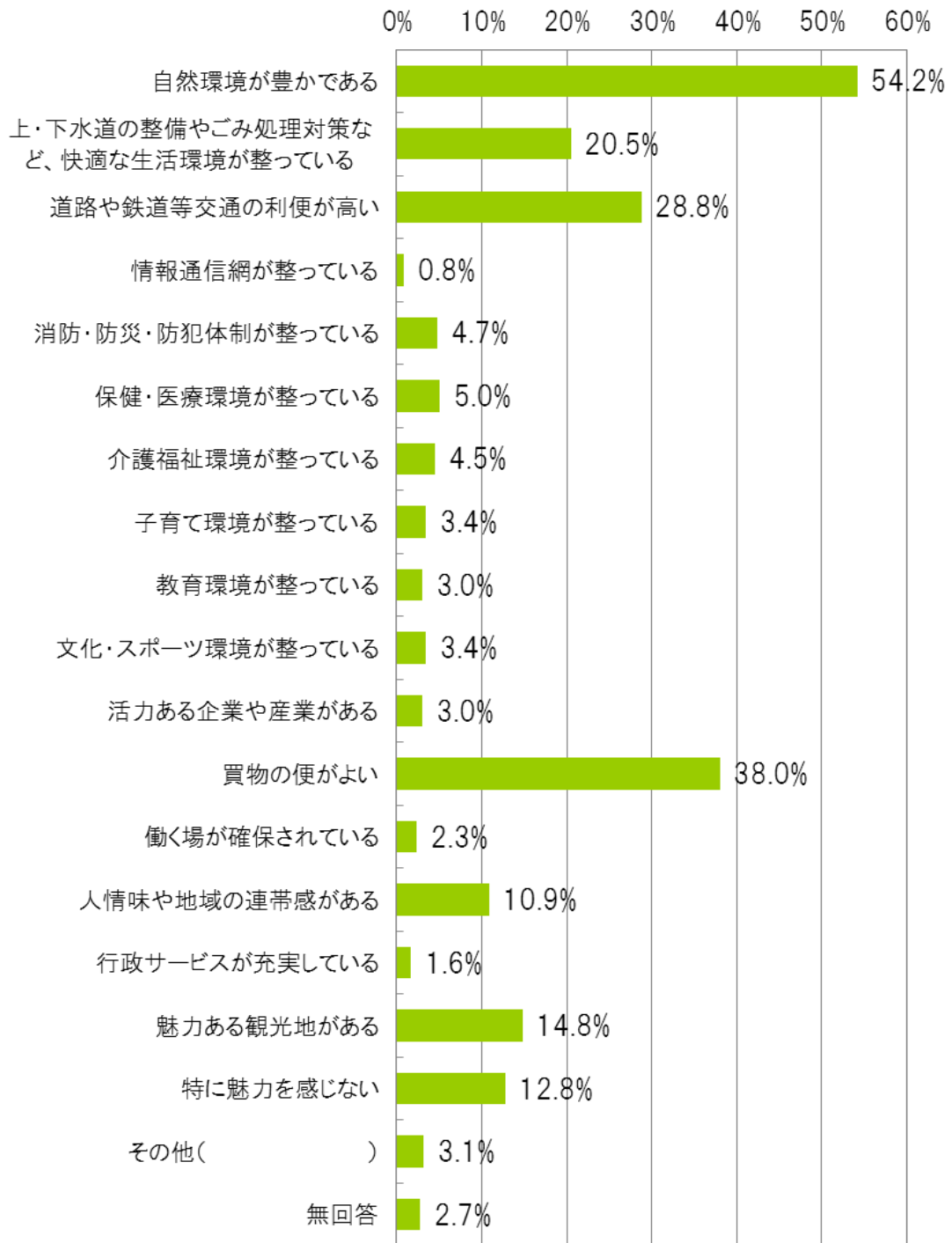


図3-1 問3に関する全体集計

<その他 回答内容>

- ・ 自然災害が少ない (6 件)
- ・ 災害の少ない町
- ・ 災害が少ないところ
- ・ 大きな災害が起りにくい所(それ以外無)
- ・ 気候が良い
- ・ 比較的, 天候がおだやか。豪雪, 洪水, 猛暑がない。
- ・ 雨・雪等気象環境がいいと思う
- ・ 気候が温暖なこと
- ・ 温暖な気候
- ・ 冬でも比較的温暖な気候である
- ・ 雪があまりふらない
- ・ 桜がきれい (2 件)
- ・ 桜が好き
- ・ 千本桜
- ・ 桜のシーズンのみ
- ・ 花の町, 学生の町
- ・ 大学の在る町
- ・ 適度な田舎感。
- ・ 都会すぎず田舎すぎずちょうど良い
- ・ 人が少ない 混雑が少ない
- ・ 仙台に近い, 周囲の観光地や店舗に近い。
- ・ ②(補足:「上・下水道の整備やごみ処理対策など, 快適な生活環境が整っている」の項目と思われる。)を考えて転居して来ました
- ・ バランスよくふつう。
- ・ イノシシが出る
- ・ 高齢化社会により周囲の人柄が悪くなり高齢者には住にくい環境となっている。
- ・ 環境整備のプライオリティーが示されていない
- ・ 昭和 30 年ごろの自然にもどしてほしい。それをやってほしい (たて山にお金をつかう

なら)

- ・ 大きいしせつがない
- ・ 下水道の整ビがわるい, はやくなんとかして下さい
- ・ 防犯体制が整っているとは言えない→柴田町の範囲が広いので。
- ・ 定期ロセンバスが走っているとよいです
- ・ 魅力があまりない。
- ・ まったく感じない
- ・ あてはまるものがない。

表 3-2 問 3 に関する年代別上位 3 項目

項目名	1 位	2 位	3 位
10 代 (n=33)	自然環境が豊かである (54.5%)	道路や鉄道等交通の利便が高い(27.3%)	買物の便がよい (24.2%)
20 代 (n=151)	自然環境が豊かである (47.7%)	買物の便がよい (35.8%)	魅力ある観光地がある (27.8%)
30 代 (n=232)	自然環境が豊かである (46.1%)	買物の便がよい (34.1%)	道路や鉄道等交通の利便が高い(26.3%)
40 代 (n=272)	自然環境が豊かである (51.5%)	買物の便がよい (40.8%)	道路や鉄道等交通の利便が高い(32.7%)
50 代 (n=267)	自然環境が豊かである (49.4%)	買物の便がよい (38.6%)	道路や鉄道等交通の利便が高い(34.1%)
60 代 (n=554)	自然環境が豊かである (59.2%)	買物の便がよい (38.8%)	道路や鉄道等交通の利便が高い(28.7%)
70 歳以上 (n=319)	自然環境が豊かである (60.8%)	買物の便がよい (39.2%)	上・下水道の整備やごみ処理対策など、快適な生活環境が整っている(36.1%)

表 3-3 問 3 に関する居住区別上位 3 項目

項目名	1 位	2 位	3 位
船岡小学校区 (n=498)	自然環境が豊かである (53.8%)	買物の便がよい (39.4%)	道路や鉄道等交通の利便が高い(31.0%)
東船岡小学校区 (n=269)	買物の便がよい (53.5%)	自然環境が豊かである (48.0%)	道路や鉄道等交通の利便が高い(24.9%)
槻木小学校区 (n=485)	自然環境が豊かである (54.2%)	道路や鉄道等交通の利便が高い(34.8%)	上・下水道の整備やごみ処理対策など、快適な生活環境が整っている(24.3%)
柴田小学校区 (n=74)	自然環境が豊かである (59.5%)	特に魅力を感じない (27.0%)	買物の便がよい (16.2%)
船迫小学校区 (n=380)	自然環境が豊かである (59.1%)	買物の便がよい (45.7%)	上・下水道の整備やごみ処理対策など、快適な生活環境が整っている(27.6%)
西住小学校区 (n=81)	自然環境が豊かである (55.6%)	買物の便がよい (29.6%)	道路や鉄道等交通の利便が高い(22.2%)

問4. あなたは、柴田町のどのようなところが不十分だと思いますか。(3つまで○印)

- | | |
|----------------|--------------------------------|
| 1. 自然環境の保全 | 2. 上・下水道の整備やごみ対策など、
快適な生活環境 |
| 3. 道路や鉄道等交通の便 | 5. 消防・防災・防犯体制 |
| 4. 情報通信網の整備 | 7. 介護福祉環境 |
| 6. 保健・医療環境 | 9. 教育環境 |
| 8. 子育て環境 | 11. 企業や産業の活力 |
| 10. 文化・スポーツ環境 | 13. 働く場の確保 |
| 12. 買い物の利便性 | 15. 行政サービス |
| 14. 人情味や地域の連帯感 | 17. 特に不十分なところはない |
| 16. 魅力ある観光地がない |) |
| 18. その他() | |

まちの不十分なところについては、「道路や鉄道等交通の便」が 22.2%と最も多く、次いで「保健・医療環境」が 20.2%、「働く場の確保」が 19.3%などとなっています

表 4-1 問 4 に関する全体集計結果

項目名	回答数	割合(%)
自然環境の保全	53	2.9
上・下水道の整備やごみ処理対策など、快適な生活環境	347	19.0
道路や鉄道等交通の便	406	22.2
情報通信網の整備	109	6.0
消防・防災・防犯体制	104	5.7
保健・医療環境	369	20.2
介護福祉環境	272	14.9
子育て環境	196	10.7
教育環境	107	5.8
文化・スポーツ環境	296	16.2
企業や産業の活力	276	15.1
買い物の利便性	309	16.9
働く場の確保	354	19.3
人情味や地域の連帯感	122	6.7
行政サービス	213	11.6
魅力ある観光地がない	266	14.5
特に不十分なところはない	162	8.9
その他()	99	5.4
無回答	67	3.7

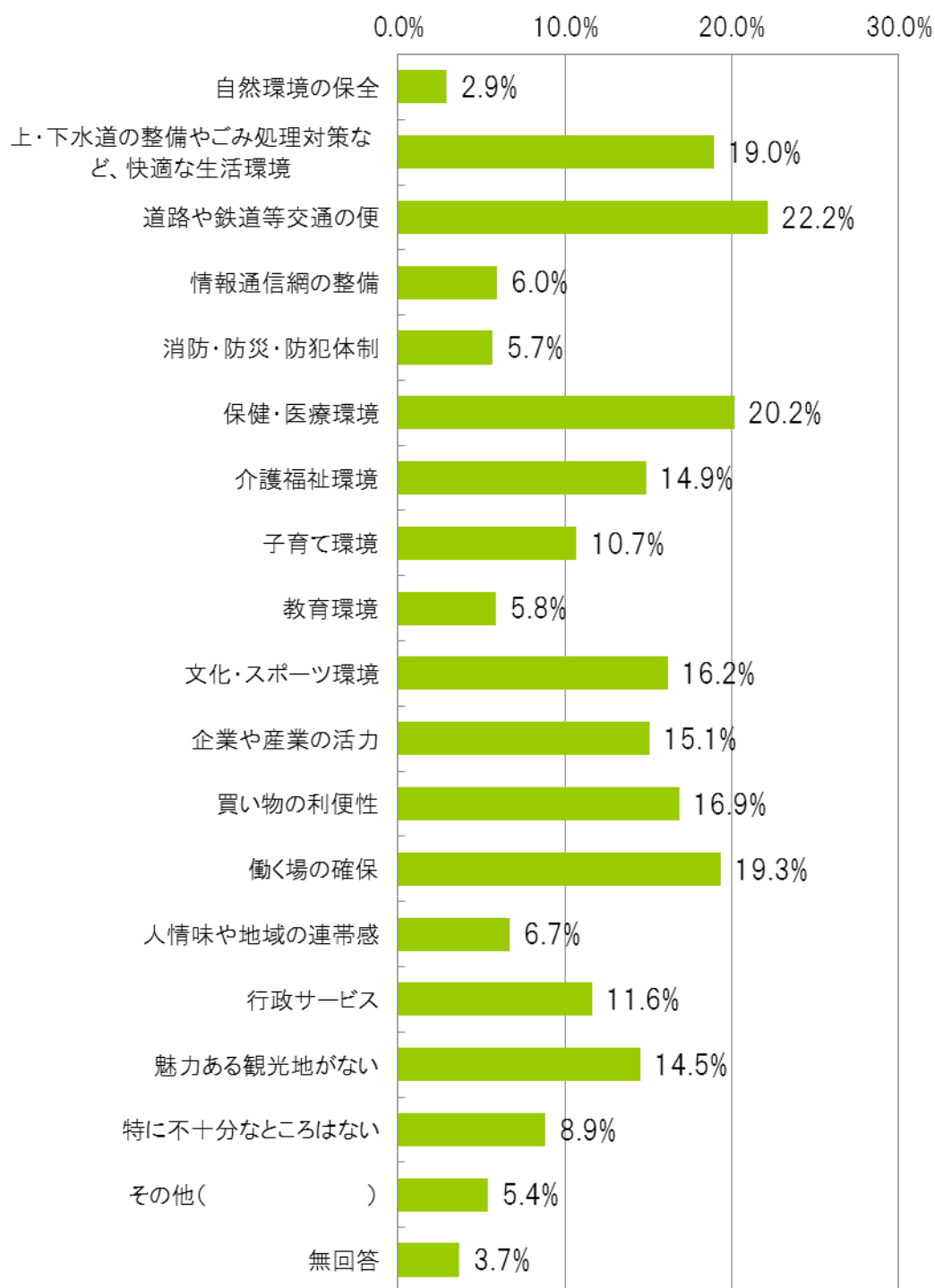


図 4-1 問 4 に関する全体集計結果

<その他 回答内容>

- ・ バスがない
- ・ バスがないということは、大変不便です。いつまで私たち運転できるかわかりませんので。
- ・ 仙台までのバスがない。新栄から船岡駅までのバスがない
- ・ 地域循環バスの運行を望む。広域市町村合併を促進してほしい。
- ・ JR駅までの交通の便がほしい。/例：主要な公共施設や大型店、病院を回るコミュニティバス
- ・ 中核病院までのコミュニティーバスが無い
- ・ みやぎ県南中核病院への交通手段…何とかなりませんか
- ・ 今だに中核病院に行く交通手段、タクシしかない/免許返上の高齢者、弱者に対して冷タンである。
- ・ 足腰が痛く大河原整形に通う母は町外には行かないデマンド型乗合タクシー(はなみちゃんGO)を利用できない。多くの医療機関は大河原(中核病院含め)にあり町内限定では利用することができない。
- ・ 見えない所の道路の整備などをしていただきたいです。
- ・ 農村の道路(生活道)の舗装
- ・ 北部道路の整備、特に山の方です)
- ・ 道路が悪い(生活)
- ・ 町内の道路が整備されていない、センターラインなどが消えてもそのままである。
- ・ 西船迫2丁目～太陽の村への道路の清掃(側溝)
- ・ 道路の整備不足、見えにくい場所へのミラー設置不足
- ・ 車がないと不便 歩道が狭くて危ない/自転車も危ない
- ・ 歩道の整備
- ・ 船迫小学校東側 歩行者・自転車道の舗装が割れて荒れている
- ・ 道路などの整備, 外灯など暗い道が多い
- ・ 側溝にコンクリート製の蓋が欲しい
- ・ 側こうがせまい
- ・ 街灯が古すぎて町全体が暗い所
- ・ 外灯は日中明るくなくても点灯したままで、電気だが無駄である。複数箇所。
- ・ 道路→町道なのに, 国道のように交通量が多く危ない
- ・ 交通の流れが悪い(信号機のタイミング)
- ・ 既存の道路・橋の管理
- ・ 水害対策
- ・ 大雨の時冠水するので大変
- ・ 豪雨に伴う排水対策整備
- ・ みちの駅, 図書館
- ・ 公立図書館の充実不十分, 学習環境
- ・ 本格的な図書館がほしい
- ・ 暇つぶしができる場所が無い。例えば寄席など。まあ、寄席など全国を見渡してもまず無いですが。
- ・ 娯楽施設が少ない
- ・ 週1回位の集いの場がほしい。
- ・ コミュニケーションのとれる広場(駅前等)がない
- ・ 町民が集まれる, キップシティーが無い(1500人以上)
- ・ 若い人達からは近所つき合いが面倒くさいと良く聞く
- ・ 地元の人の人間性が悪い村八分の仕来りがある

- ・ 車のテレビ写りが非常に悪い。
- ・ AM ラジオの電波が弱い。
- ・ ガス代が高い
- ・ 駅のトイレが汚い。
- ・ 商店街に駐車場が足りない
- ・ 民間に丸投げは良くない
- ・ 何の特徴もない
- ・ あてはまるものがない
- ・ 引越してきたばかりでありあまりわからない
- ・ よくわからない
- ・ 大学生のマナーが悪い
- ・ 不審な人が多い
- ・ 治安
- ・ 環境改善（河川，道路，森林，荒地 etc）
- ・ カラス対策
- ・ 農村部に住んでいます。もっとイノシシ対策を？
- ・ 下水道未設置アパートによる側溝の不衛生対策
- ・ いまだ下水道が整ビされていない事
- ・ イベント回数が少ない
- ・ 槻木地区でのイベントが少くない→船岡中心
- ・ 特産品が少ない
- ・ アピール度が地味!!
- ・ 槻木地区に企業誘致
- ・ リラックス出来る，大きな公園や BBQ 場
- ・ 町の共同墓地があるとよい。
- ・ 観光地としては，トイレの数が足りないと
思う
- ・ 公園にトイレがない
- ・ せっかくの花の町として整備しているが，
活気がない
- ・ たて山の自然環境が，いじりすぎたことで
こわれてしまった。
- ・ 町内商工会の活動不足（桜，紫陽花，菊，
その他）の時等，隣町に負けてますよ。
- ・ 飲食店が少ない。町外に行っている。
- ・ 飲食店が少ない人口の割に。
- ・ 福祉ではなく観光に力を入れてるのがダ
メだ
- ・ 観光に力を入れすぎて，その他の事が（道
路修理？防護柵の＃）
- ・ 健康に対する啓蒙活動，運動
- ・ 若者定着 老人対策病人
- ・ 町営住宅，高齢者，単身用がない
- ・ 貧困対策が不十分。
- ・ 高齢者を放っておく感あり 社，福支援セ
ンター
- ・ 柴田町は住民税が高いようです
- ・ 船迫中学校のプールは使用中止になりプ
ールに入る授業が減った。復旧して欲しい

表 4-2 問 4 に関する年代別上位 3 項目

項目名	1 位	2 位	3 位
10 代 (n=33)	道路や鉄道等交通の便，文化・スポーツ環境，買い物の利便性 (同率 1 位)(33.3%)		
20 代 (n=151)	道路や鉄道等交通の便 (33.1%)	働く場の確保 (24.5%)	子育て環境，買い物の利便性 (同率 3 位)(20.5%)
30 代 (n=232)	子育て環境 (29.3%)	働く場の確保 (23.7%)	道路や鉄道等交通の便 (22.4%)
40 代 (n=272)	道路や鉄道等交通の便 (25.4%)	上・下水道の整備やごみ処理 対策など，快適な生活環境 (23.5%)	働く場の確保 (22.4%)
50 代 (n=267)	保健・医療環境 (20.9%)	文化・スポーツ環境 (20.5%)	道路や鉄道等交通の便 (19.4%)
60 代 (n=553)	保健・医療環境 (22.9%)	介護福祉環境 (21.1%)	道路や鉄道等交通の便 (20.0%)
70 歳以上 (n=321)	介護福祉環境 (21.8%)	保健・医療環境 (21.5%)	道路や鉄道等交通の便 (19.0%)

表 4-3 問 4 に関する居住区別上位 3 項目

項目名	1 位	2 位	3 位
船岡小学校区 (n=499)	保健・医療環境 (23.2%)	道路や鉄道等交通の便 (18.4%)	文化・スポーツ環境 (17.4%)
東船岡小学校区 (n=268)	上・下水道の整備やごみ 処理対策など，快適な 生活環境(40.1%)	道路や鉄道等交通の便 (23.0%)	働く場の確保 (22.7%)
槻木小学校区 (n=485)	道路や鉄道等交通の便 (24.5%)	買い物の利便性 (23.1%)	働く場の確保 (19.4%)
柴田小学校区 (n=74)	道路や鉄道等交通の便 (36.5%)	上・下水道の整備やごみ 処理対策など，快適な 生活環境(25.7%)	介護福祉環境，働く場の 確保(24.3%)
船迫小学校区 (n=381)	保健・医療環境 (22.8%)	道路や鉄道等交通の便 (19.7%)	働く場の確保 (19.2%)
西住小学校区 (n=81)	道路や鉄道等交通の便 (24.7%)	買い物の利便性 (19.8%)	上・下水道の整備やごみ 処理対策など，快適な 生活環境(8.5%)

問5. あなたは、これからも柴田町に住みたいと思いますか。(1つに○印)

- | | |
|-------------------------|-------------------|
| 1. 住みたい | 2. どちらかといえば住みたい |
| 3. どちらともいえない | 4. どちらかといえば住みたくない |
| 5. 住みたくない(できれば町外へ引越したい) | |

これからも柴田町に住みたいかについては、「住みたい」が36.3%と最も多くなっており、「住みたい」(36.3%)と「どちらかといえば住みたい」(31.9%)は、あわせて68.2%となっています。

一方で、「どちらかといえば住みたくない」(4.4%)、「住みたくない」(3.9%)は、あわせて8.3%となっています。

表 5-1 問5に関する全体集計結果

項目名	男性	女性	性別 無回答	全体	割合(%)
住みたい	302	363	0	665	36.3
どちらかといえば住みたい	261	324	0	585	31.9
どちらともいえない	184	230	1	415	22.7
どちらかといえば住みたくない	35	45	0	80	4.4
住みたくない(できれば町外へ引越したい)	30	41	0	71	3.9
無回答	9	7	0	16	0.9
	821	1,010	1	1,832	

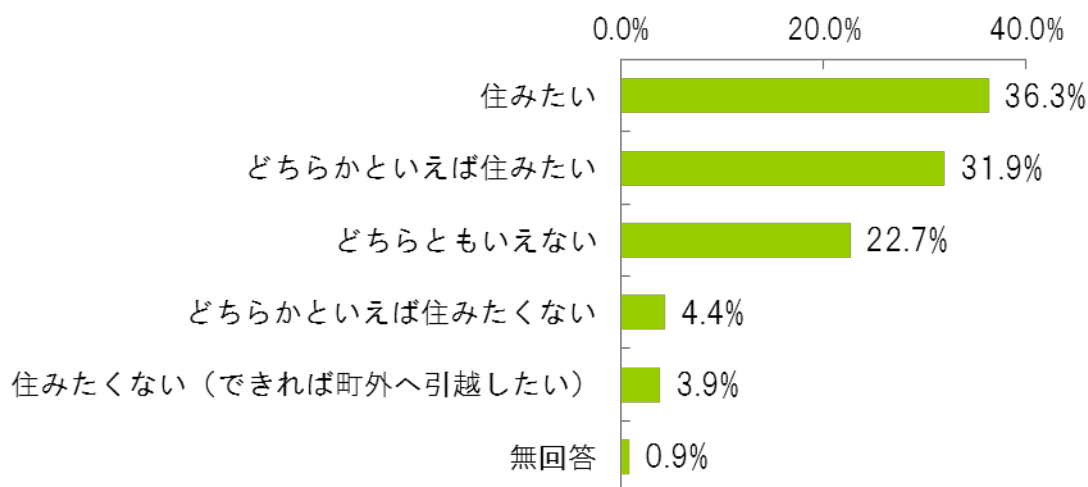


図 5-1 問5に関する全体集計結果

表 5-2 問 5 に関する年代別集計結果

(単位：%)

項目名	高 ← 定住意向 → 低					無回答
	住みたい	どちらかといえ ば住みたい	どちらとも いえない	どちらかといえ ば住みたくない	住みたくない (できれば町外へ引越 したい)	
10代 (n=33)	18.2	18.2	33.3	18.2	12.1	0.0
20代 (n=151)	21.2	30.5	33.1	7.9	6.6	0.7
30代 (n=232)	27.2	41.4	22.4	3.0	6.0	0.0
40代 (n=272)	35.7	35.7	18.8	5.1	4.4	0.4
50代 (n=268)	38.1	28.4	23.9	6.0	2.2	1.5
60代 (n=554)	40.3	31.2	21.3	3.6	3.1	0.5
70歳以上 (n=321)	44.2	28.3	21.2	1.6	2.5	2.2

表 5-3 問 5 に関する居住区別集計結果

(単位：%)

項目名	高 ← 定住意向 → 低					無回答
	住みたい	どちらかといえ ば住みたい	どちらとも いえない	どちらかといえ ば住みたくない	住みたくない (できれば町外へ引越 したい)	
船岡小学校区 (n=500)	39.4	33.6	19.4	4.2	3.0	0.4
東船岡小学校区 (n=269)	34.9	29.0	25.3	5.9	4.5	0.4
槻木小学校区 (n=485)	33.0	35.1	24.5	3.7	3.3	0.4
柴田小学校区 (n=74)	31.1	24.3	28.4	2.7	9.5	4.1
船迫小学校区 (n=381)	38.6	29.9	21.3	4.7	4.5	1.0
西住小学校区 (n=81)	37.0	34.6	21.0	2.5	2.5	2.5

2-3. まちづくりの現状と今後の取り組みについて

問6. 各施策の満足度・重要度

満足度×重要度アンケート調査の結果から、柴田町がこれまで進めてきた46の施策に対する重要度、満足度を点数化し、分布図に示しました。

※重要度・満足度の点数化

各施策に対する回答を、

重要度 「高い(100)、やや高い(75)、やや低い(25)、低い(0)」

満足度 「満足(100)、やや満足(75)、やや不満足(25)、不満(0)」

として点数化し、全回答者の平均値を算出しました。(無回答は除外)

前回(H25)調査時は、重要度、満足度とも意向が高い順に5～1で点数化していましたが、全46の施策があることから、同点を避けるため、今回は100～0で点数化しています。

分布図について

重要度の点数は0～100の間に分布し、中間点50を境に100に近いほど重要度が高く、0に近いほど重要度が低いと考えることとなります。同じように満足度についても中間点50を境に100に近いほど満足度が高く、0に近いほど満足度が低いと考えることとなります。

この中間点を基準に分布図の領域を以下の図のように4つに区分します。

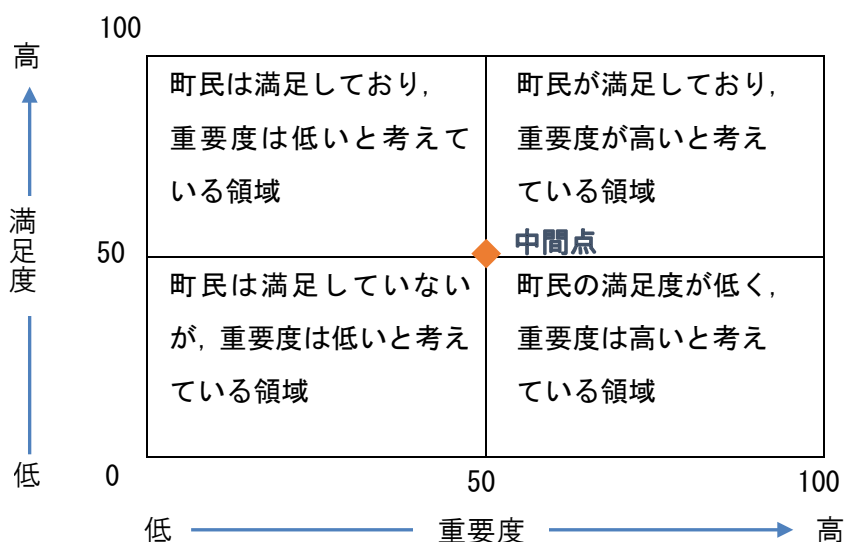


図6 施策に対する重要度・満足度分布図 領域

重要度，満足度調査結果について

回答を分布図にすると，ほとんどの施策が「町民の満足度が低く，重要度は高いと考えている」領域に分布します。

◆ 調査結果

重要度が高いと考えられている施策（50ポイント以上）

全46の施策について重要度が50ポイントを超えており，重要度が高いと考えられます。特に，「医療体制（地域における福祉活動の促進，福祉ボランティアの育成等）」が最も重要度が高いと考えられます。

町民が満足していない施策（50ポイント未満）

全46の施策のうち16施策が50ポイント未満となっており，満足していないと考えられます。特に，「商業振興（商店経営の改善，商業集積づくりの推進等）」の状況が最も低くなっています。

(1) 保健・医療・福祉の分野

保健・医療・福祉の分野は、全体的に重要度が高く、少子高齢化などの社会的背景から、今後も重点的な取り組みが求められます。

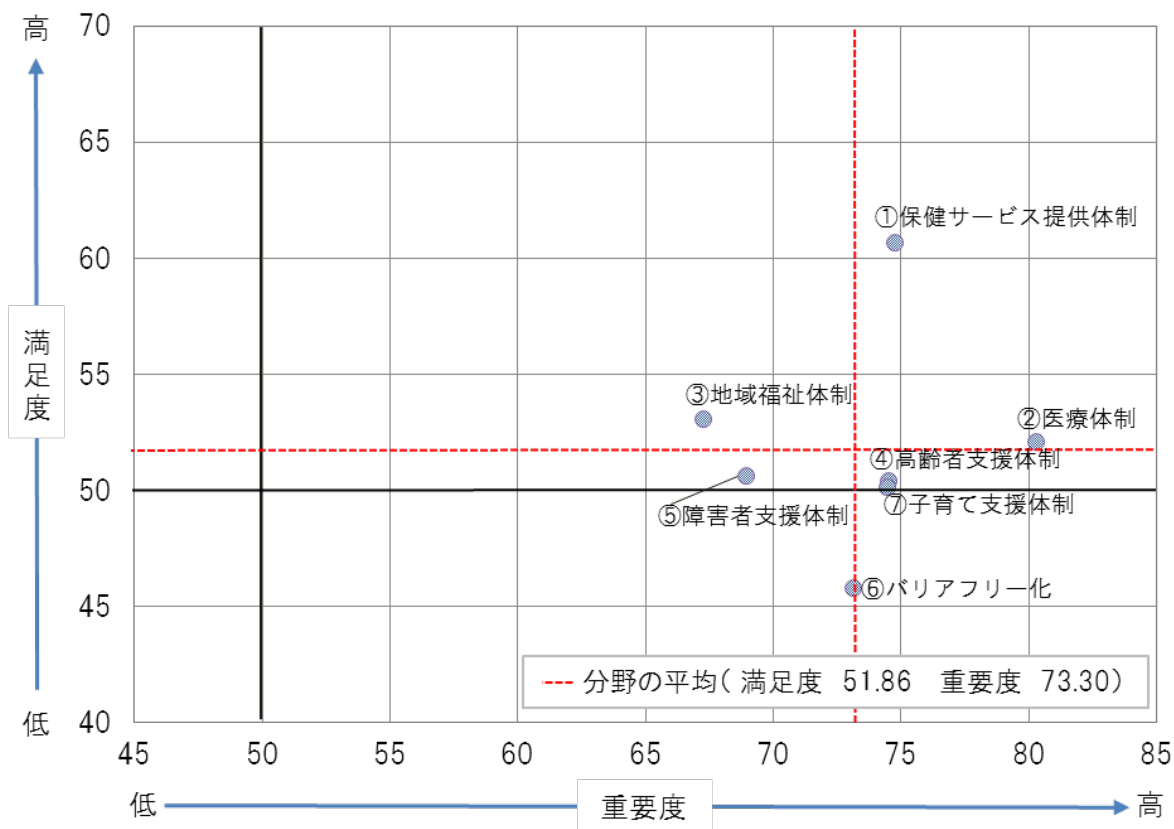


図 6-1-1 保健・医療・福祉分野の満足度×重要度

表 6-1-1 保健・医療・福祉分野の満足度、重要度、その差

施策内容	満足度指数	重要度指数	重要度と満足度の差
①保健サービス提供体制(健康診査、健康相談の充実、健康づくりの充実等)	60.72	74.73	14.01
②医療体制(地域医療体制の充実、救急医療体制の充実等)	52.12	80.23	28.11
③地域福祉体制(地域における福祉活動の促進、福祉ボランティアの育成等)	53.12	67.21	14.09
④高齢者支援体制(福祉・介護サービスの充実、生きがい対策の充実等)	50.42	74.50	24.08
⑤障害者支援体制(障害者への福祉サービスの充実、社会参加の促進等)	50.63	68.90	18.28
⑥バリアフリー化(段差の解消、だれもが使いやすい施設の整備等)	45.83	73.09	27.26
⑦子育て支援体制(保育・相談の充実、交流場の提供、子ども医療費助成等)	50.15	74.45	24.30

1) 満足度

- 全体的に「どちらともいえない」という回答者が最も多くなっています。
- 『保健サービス提供体制』については、「満足している」(9.3%),「どちらかといえば満足している」(34.5%)が、あわせて43.8%となっています。
- 「どちらかといえば不満である」、「不満である」をあわせた回答が多い項目は、『バリアフリー化』(26.3%),『医療体制』(23.8%)『子育て支援体制』(19.4%)などとなっています。

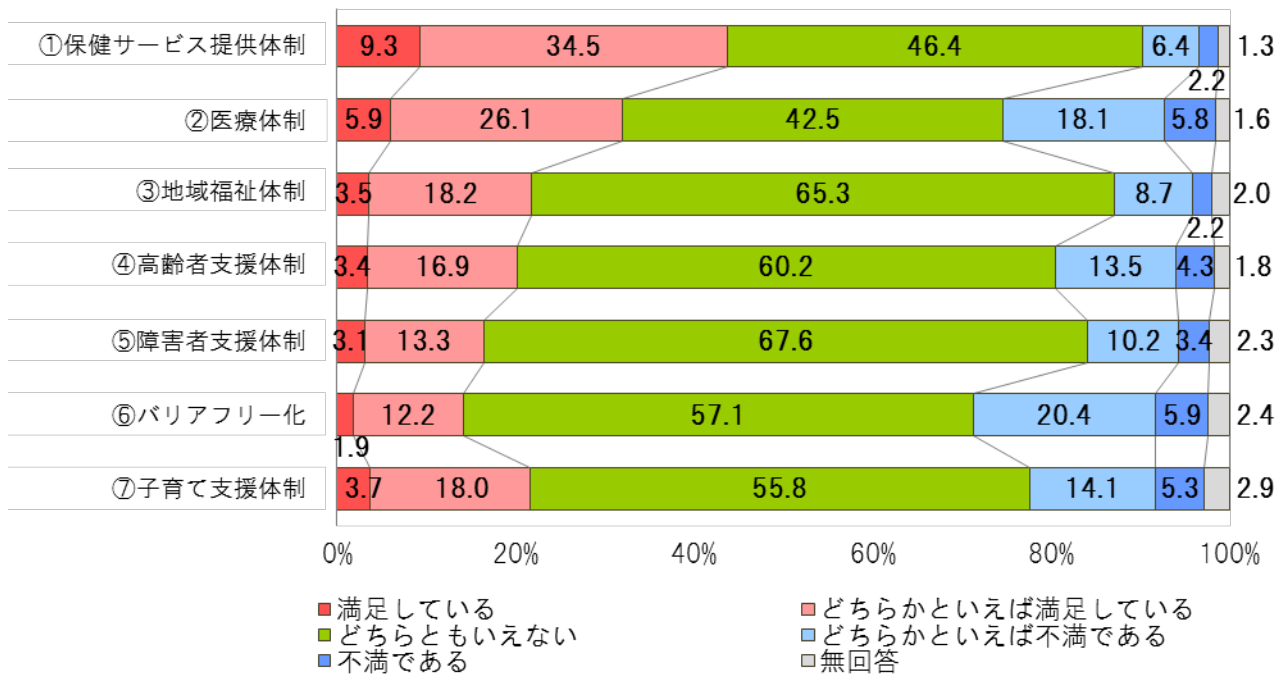


図 6-1-2 保健・医療・福祉分野の満足度

表 6-1-2 保健・医療・福祉分野の満足度

施策内容	項目名	回答数	割合(%)
①保健サービス提供体制(健康診査、健康相談の充実、健康づくりの充実等) (n=1,831)	満足している	170	9.3%
	どちらかといえば満足している	632	34.5%
	どちらともいえない	849	46.4%
	どちらかといえば不満である	117	6.4%
	不満である	40	2.2%
	無回答	23	1.3%
②医療体制(地域医療体制の充実、救急医療体制の充実等) (n=1,832)	満足している	109	5.9%
	どちらかといえば満足している	478	26.1%
	どちらともいえない	779	42.5%
	どちらかといえば不満である	331	18.1%
	不満である	106	5.8%
	無回答	29	1.6%
③地域福祉体制(地域における福祉活動の促進、福祉ボランティアの育成等) (n=1,832)	満足している	65	3.5%
	どちらかといえば満足している	334	18.2%
	どちらともいえない	1,196	65.3%
	どちらかといえば不満である	160	8.7%
	不満である	40	2.2%
	無回答	37	2.0%
④高齢者支援体制(福祉・介護サービスの充実、生きがい対策の充実等) (n=1,832)	満足している	62	3.4%
	どちらかといえば満足している	309	16.9%
	どちらともいえない	1,103	60.2%
	どちらかといえば不満である	247	13.5%
	不満である	78	4.3%
	無回答	33	1.8%
⑤障害者支援体制(障害者への福祉サービスの充実、社会参加の促進等) (n=1,832)	満足している	57	3.1%
	どちらかといえば満足している	244	13.3%
	どちらともいえない	1,239	67.6%
	どちらかといえば不満である	187	10.2%
	不満である	63	3.4%
	無回答	42	2.3%
⑥バリアフリー化(段差の解消、だれもが使いやすい施設の整備等) (n=1,832)	満足している	35	1.9%
	どちらかといえば満足している	224	12.2%
	どちらともいえない	1,046	57.1%
	どちらかといえば不満である	374	20.4%
	不満である	109	5.9%
	無回答	44	2.4%
⑦子育て支援体制(保育・相談の充実、交流場の提供、子ども医療費助成等) (n=1,832)	満足している	68	3.7%
	どちらかといえば満足している	330	18.0%
	どちらともいえない	1,023	55.8%
	どちらかといえば不満である	259	14.1%
	不満である	98	5.3%
	無回答	54	2.9%

2) 重要度

- 「重視する」と「やや重視する」をあわせた回答が多くなっているのが、『医療体制』(77.4%), 『保健サービス提供体制』(70.4%), 『高齢者支援体制』(67.6%)などで、重要度の高い取り組みであることがうかがえます。

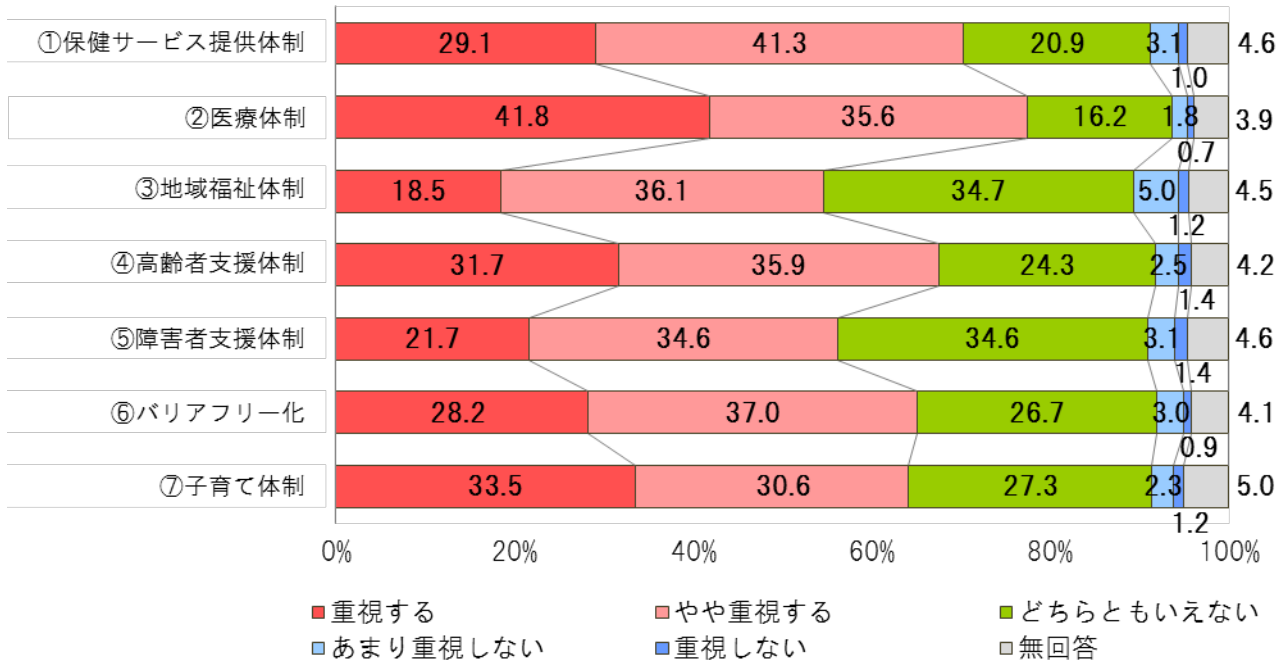


図 6-1-3 保健・医療・福祉分野の重要度

表 6-1-3 保健・医療・福祉分野の重要度

施策内容	項目名	回答数	割合(%)
①保健サービス提供体制(健康診査、健康相談の充実、健康づくりの充実等) (n=1,832)	重視する	533	29.1%
	やや重視する	756	41.3%
	どちらともいえない	383	20.9%
	あまり重視しない	56	3.1%
	重視しない	19	1.0%
	無回答	85	4.6%
②医療体制(地域医療体制の充実、救急医療体制の充実等) (n=1,831)	重視する	766	41.8%
	やや重視する	652	35.6%
	どちらともいえない	296	16.2%
	あまり重視しない	33	1.8%
	重視しない	12	0.7%
	無回答	72	3.9%
③地域福祉体制(地域における福祉活動の促進、福祉ボランティアの育成等) (n=1,832)	重視する	339	18.5%
	やや重視する	662	36.1%
	どちらともいえない	636	34.7%
	あまり重視しない	91	5.0%
	重視しない	22	1.2%
	無回答	82	4.5%
④高齢者支援体制(福祉・介護サービスの充実、生きがい対策の充実等) (n=1,832)	重視する	580	31.7%
	やや重視する	658	35.9%
	どちらともいえない	445	24.3%
	あまり重視しない	46	2.5%
	重視しない	26	1.4%
	無回答	77	4.2%
⑤障害者支援体制(障害者への福祉サービスの充実、社会参加の促進等) (n=1,832)	重視する	397	21.7%
	やや重視する	634	34.6%
	どちらともいえない	634	34.6%
	あまり重視しない	57	3.1%
	重視しない	25	1.4%
	無回答	85	4.6%
⑥バリアフリー化(段差の解消、だれもが使いやすい施設の整備等) (n=1,832)	重視する	517	28.2%
	やや重視する	677	37.0%
	どちらともいえない	490	26.7%
	あまり重視しない	55	3.0%
	重視しない	17	0.9%
	無回答	76	4.1%
⑦子育て支援体制(保育・相談の充実、交流場の提供、子ども医療費助成等) (n=1,832)	重視する	614	33.5%
	やや重視する	561	30.6%
	どちらともいえない	500	27.3%
	あまり重視しない	43	2.3%
	重視しない	22	1.2%
	無回答	92	5.0%

(2) 生活環境・都市基盤の分野

生活環境・都市基盤の分野は、満足度・重要度ともに意向が分散しており、地域性や項目の内容によって、計画的な推進・維持に取り組む必要があると考えられます。

特にライフラインや生活の安全に関する施策についての重要度が高くなっています。

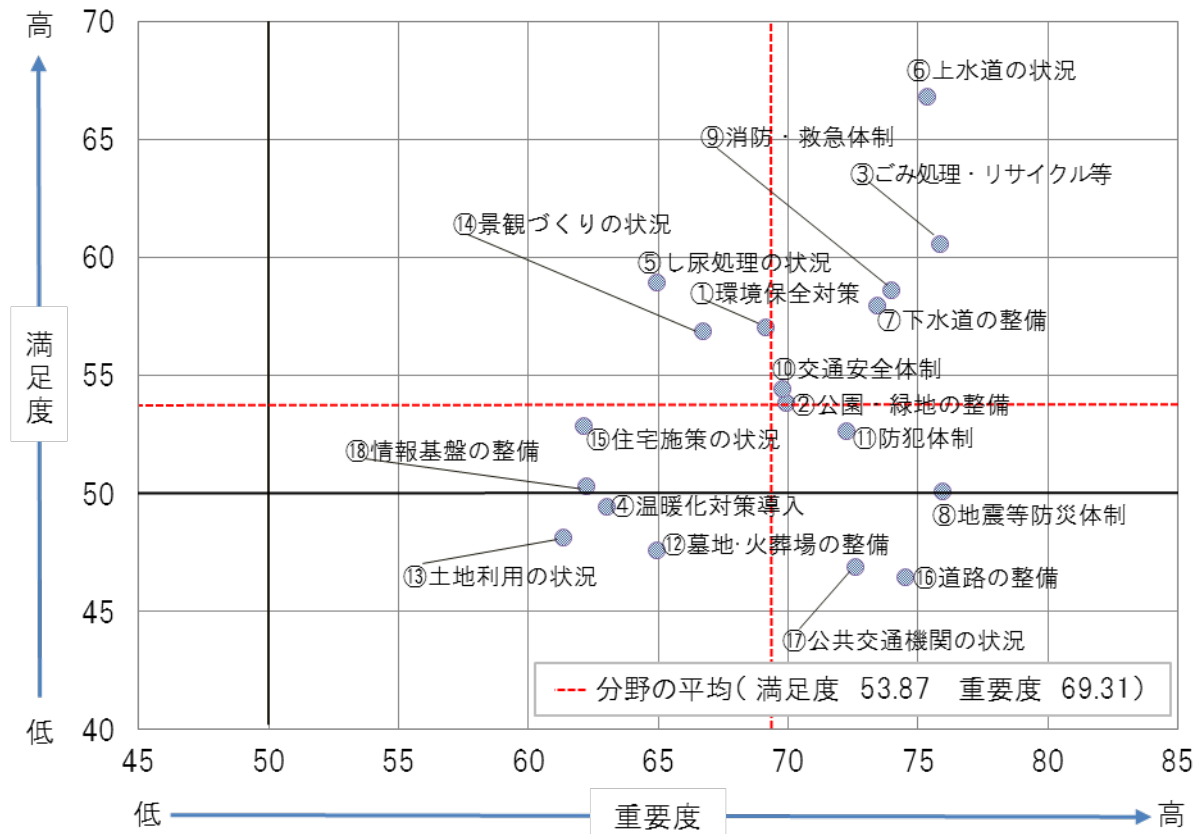


図 6-2-1 生活環境・都市基盤分野の満足度×重要度

表 6-2-1 生活環境・都市基盤分野の満足度、重要度、その差

施策内容	満足度指数	重要度指数	重要度と満足度の差
①環境保全対策(公害の防止、自然環境の保全、環境美化・植栽活動の促進等)	57.05	69.11	12.06
②公園・緑地(身近な公園・広場、緑地、河川等)の整備	53.85	69.90	16.05
③ごみ処理・リサイクル等(収集・処理の充実、リサイクルの促進等)	60.59	75.83	15.23
④温暖化対策(低公害車・太陽光等)の導入	49.48	62.99	13.51
⑤し尿処理(適切な収集・処理の推進)の状況	58.94	64.93	5.99
⑥上水道(安全・安心な水の安定供給の確保)の状況	66.85	75.30	8.45
⑦下水道の整備(公共下水道の整備、浄化槽の普及等)	57.99	73.39	15.40
⑧地震等防災体制(自主防災組織の育成、情報伝達の充実、危険箇所整備等)	50.11	75.90	25.79
⑨消防・救急体制(広域消防・救急の充実、消防団の充実等)	58.63	73.96	15.33
⑩交通安全体制(意識啓発の推進、交通安全施設の整備等)	54.46	69.77	15.31
⑪防犯体制(意識啓発の推進、防犯・パトロール活動の促進等)	52.64	72.23	19.59
⑫墓地・火葬場の整備	47.60	64.90	17.30
⑬土地利用(秩序ある適正な土地利用への規制・誘導等)の状況	48.13	61.31	13.18
⑭景観(柴田町らしい美しい景観や街並み等)づくりの状況	56.88	66.70	9.82
⑮住宅施策(良質な住宅の建設促進、良好な住宅地の形成等)の状況	52.87	62.09	9.22
⑯道路(国道、県道、町道)の整備	46.45	74.47	28.02
⑰公共交通機関(JR、阿武隈急行、デマンド型乗合タクシー)の状況	46.90	72.54	25.64
⑱情報基盤(インターネット環境等)の整備	50.31	62.23	11.92

1) 満足度

全体的に、「どちらともいえない」という回答が多くなっています。「満足している」、「どちらかといえば満足している」をあわせた回答が多い項目は、『上水道の状況』(58.0%),『ごみ処理・リサイクル等』(50.9%),『下水道の整備』(42.3%)となっています。

「どちらかといえば不満である」、「不満である」をあわせた回答が多い項目は、『道路整備』(34.5%),『公共交通機関の状況』(30.2%)『公園・緑地の整備』(22.8%)となっています。

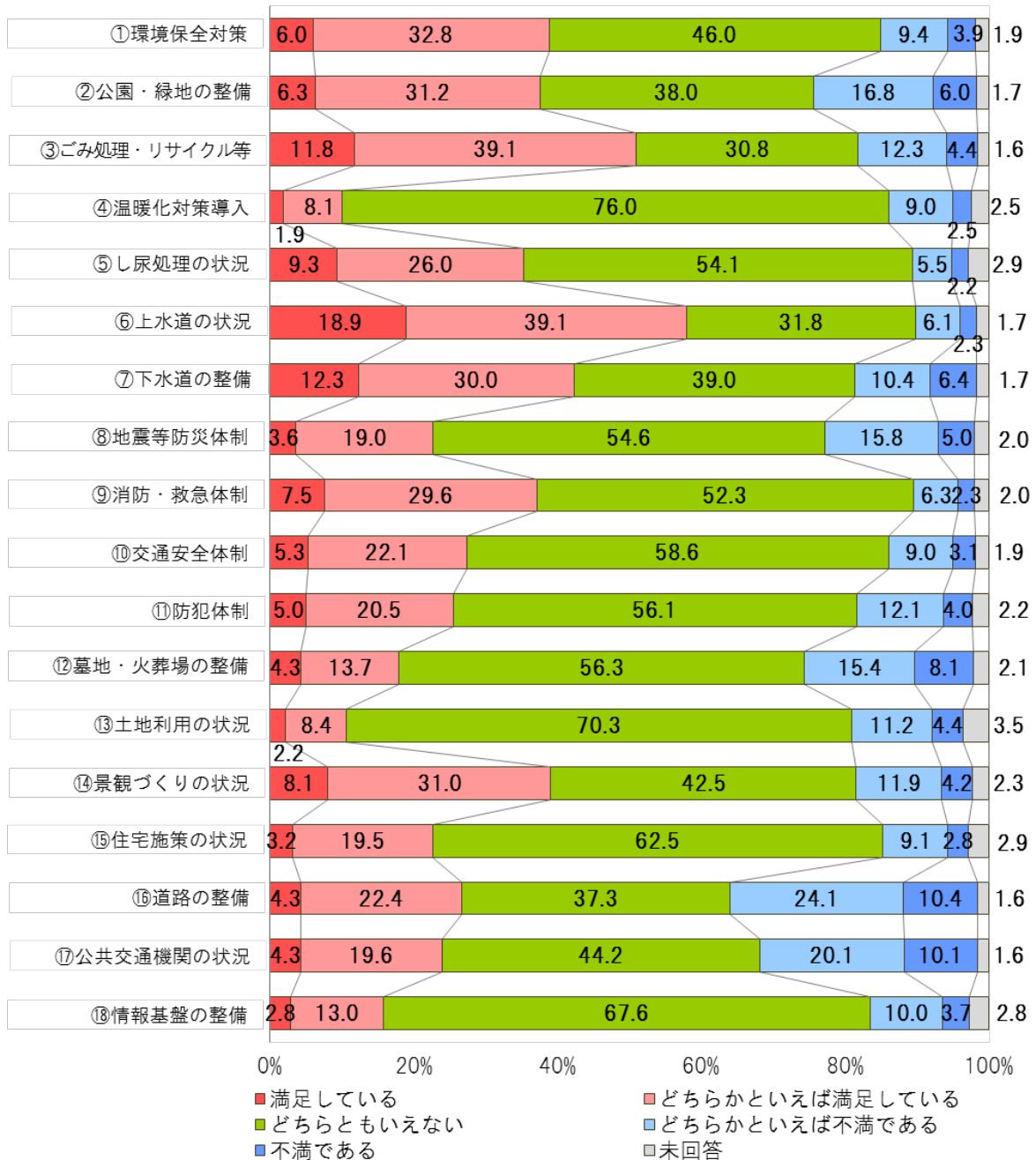


図6-2-2 生活環境・都市基盤分野の満足度

表 6-2-2 生活環境・都市基盤分野の満足度

施策内容	項目名	回答数	割合(%)
①環境保全対策(公害の防止、自然環境の保全、環境美化・植栽活動の促進等) (n=1,831)	満足している	110	6.0%
	どちらかといえば満足している	601	32.8%
	どちらともいえない	843	46.0%
	どちらかといえば不満である	172	9.4%
	不満である	71	3.9%
	無回答	34	1.9%
②公園・緑地(身近な公園・広場、緑地、河川等)の整備 (n=1,832)	満足している	116	6.3%
	どちらかといえば満足している	572	31.2%
	どちらともいえない	696	38.0%
	どちらかといえば不満である	307	16.8%
	不満である	110	6.0%
	無回答	31	1.7%
③ごみ処理・リサイクル等(収集・処理の充実、リサイクルの促進等) (n=1,832)	満足している	216	11.8%
	どちらかといえば満足している	717	39.1%
	どちらともいえない	565	30.8%
	どちらかといえば不満である	225	12.3%
	不満である	80	4.4%
	無回答	29	1.6%
④温暖化対策(低公害車・太陽光等)の導入 (n=1,832)	満足している	35	1.9%
	どちらかといえば満足している	149	8.1%
	どちらともいえない	1,393	76.0%
	どちらかといえば不満である	164	9.0%
	不満である	46	2.5%
	無回答	45	2.5%
⑤し尿処理(適切な収集・処理の推進)の状況 (n=1,832)	満足している	171	9.3%
	どちらかといえば満足している	476	26.0%
	どちらともいえない	991	54.1%
	どちらかといえば不満である	100	5.5%
	不満である	41	2.2%
	無回答	53	2.9%
⑥上水道(安全・安心な水の安定供給の確保)の状況 (n=1,832)	満足している	347	18.9%
	どちらかといえば満足している	716	39.1%
	どちらともいえない	583	31.8%
	どちらかといえば不満である	111	6.1%
	不満である	43	2.3%
	無回答	32	1.7%
⑦下水道の整備(公共下水道の整備、浄化槽の普及等) (n=1,832)	満足している	226	12.3%
	どちらかといえば満足している	550	30.0%
	どちらともいえない	715	39.0%
	どちらかといえば不満である	191	10.4%
	不満である	118	6.4%
	無回答	32	1.7%

⑧地震等防災体制(自主防災組織の育成、情報伝達の充実、危険箇所整備等)	満足している	66	3.6%
	どちらかといえば満足している	348	19.0%
	どちらともいえない	999	54.6%
	どちらかといえば不満である	290	15.8%
	不満である	91	5.0%
	(n=1,831) 無回答	37	2.0%
⑨消防・救急体制(広域消防・救急の充実、消防団の充実等)	満足している	138	7.5%
	どちらかといえば満足している	543	29.6%
	どちらともいえない	958	52.3%
	どちらかといえば不満である	115	6.3%
	不満である	42	2.3%
	(n=1,832) 無回答	36	2.0%
⑩交通安全体制(意識啓発の推進、交通安全施設の整備等)	満足している	98	5.3%
	どちらかといえば満足している	404	22.1%
	どちらともいえない	1,074	58.6%
	どちらかといえば不満である	165	9.0%
	不満である	57	3.1%
	(n=1,832) 無回答	34	1.9%
⑪防犯体制(意識啓発の推進、防犯・パトロール活動の促進等)	満足している	92	5.0%
	どちらかといえば満足している	375	20.5%
	どちらともいえない	1,028	56.1%
	どちらかといえば不満である	222	12.1%
	不満である	74	4.0%
	(n=1,832) 無回答	41	2.2%
⑫墓地・火葬場の整備	満足している	79	4.3%
	どちらかといえば満足している	250	13.7%
	どちらともいえない	1,030	56.3%
	どちらかといえば不満である	282	15.4%
	不満である	149	8.1%
	(n=1,829) 無回答	39	2.1%
⑬土地利用(秩序ある適正な土地利用への規制・誘導等)の状況	満足している	40	2.2%
	どちらかといえば満足している	154	8.4%
	どちらともいえない	1,287	70.3%
	どちらかといえば不満である	206	11.2%
	不満である	80	4.4%
	(n=1,832) 無回答	65	3.5%
⑭景観(柴田町らしい美しい景観や街並み等)づくりの状況	満足している	148	8.1%
	どちらかといえば満足している	568	31.0%
	どちらともいえない	778	42.5%
	どちらかといえば不満である	218	11.9%
	不満である	77	4.2%
	(n=1,832) 無回答	43	2.3%

⑮住宅施策(良質な住宅の建設促進、良質な住宅地の形成等)の状況 (n=1,831)	満足している	58	3.2%
	どちらかといえば満足している	357	19.5%
	どちらともいえない	1,145	62.5%
	どちらかといえば不満である	167	9.1%
	不満である	51	2.8%
	無回答	53	2.9%
⑯道路(国道、県道、町道)の整備 (n=1,832)	満足している	78	4.3%
	どちらかといえば満足している	410	22.4%
	どちらともいえない	683	37.3%
	どちらかといえば不満である	442	24.1%
	不満である	190	10.4%
	無回答	29	1.6%
⑰公共交通機関(JR、阿武隈急行、デマンド型乗合タクシー)の状況 (n=1,828)	満足している	78	4.3%
	どちらかといえば満足している	359	19.6%
	どちらともいえない	808	44.2%
	どちらかといえば不満である	368	20.1%
	不満である	185	10.1%
	無回答	30	1.6%
⑱情報基盤(インターネット環境等)の整備 (n=1,832)	満足している	52	2.8%
	どちらかといえば満足している	238	13.0%
	どちらともいえない	1,239	67.6%
	どちらかといえば不満である	184	10.0%
	不満である	68	3.7%
	無回答	51	2.8%

2) 重要度

全体的に「重視する」「やや重視する」という回答が多くなっており、『ごみ処理・リサイクル等』(73.0%)、『道路の整備』(69.3%)、『地震等防災対策』(68.7%)は、重要度の高い項目であることがうかがえます。

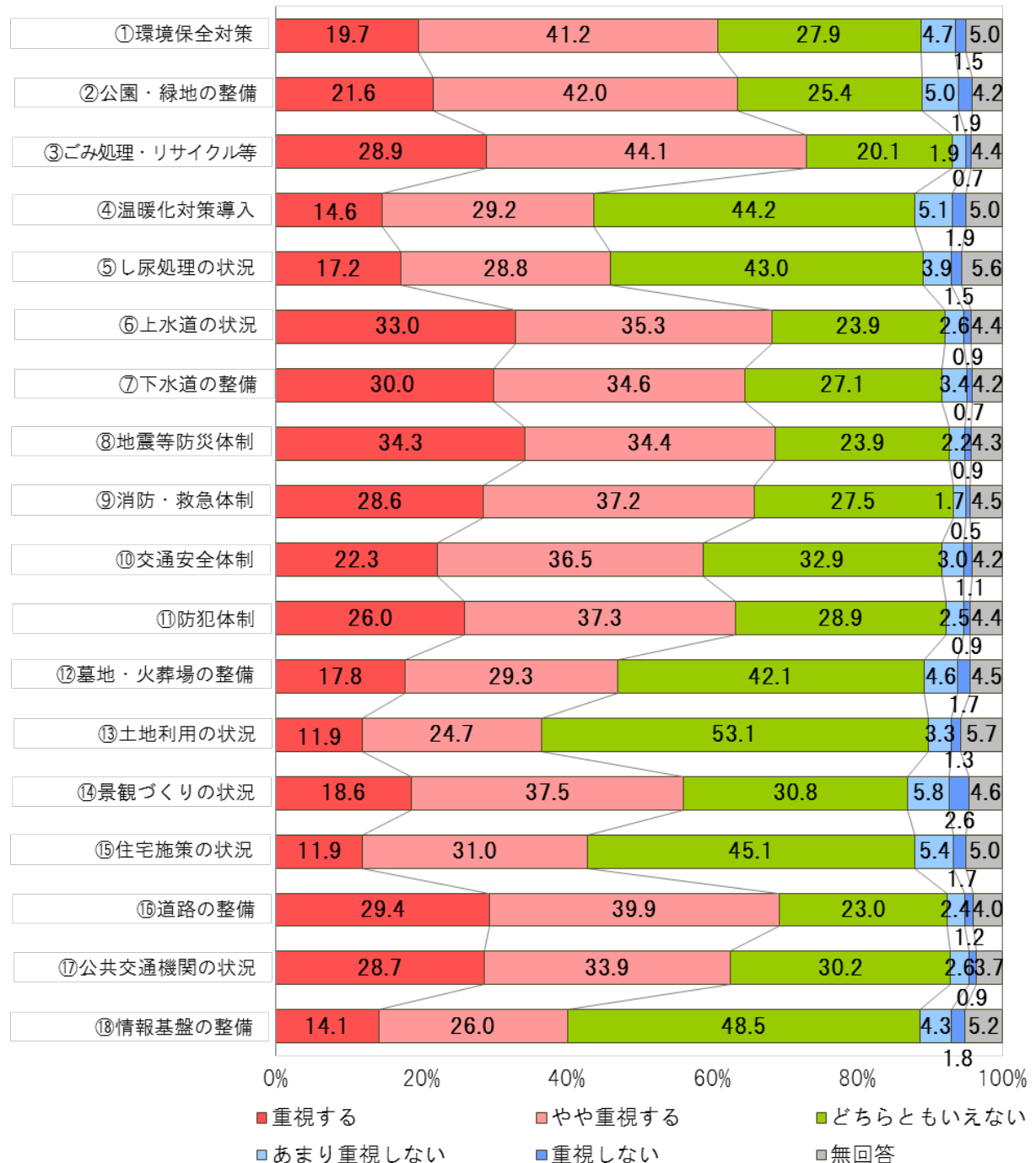


図 6-2-3 生活環境・都市基盤分野の重要度

表 6-2-3 生活環境・都市基盤分野の重要度

施策内容	項目名	回答数	割合(%)
①環境保全対策(公害の防止、自然環境の保全、環境美化・植栽活動の促進等) (n=1,832)	重視する	360	19.7%
	やや重視する	754	41.2%
	どちらともいえない	512	27.9%
	あまり重視しない	87	4.7%
	重視しない	28	1.5%
	無回答	91	5.0%
②公園・緑地(身近な公園・広場、緑地、河川等)の整備 (n=1,830)	重視する	395	21.6%
	やや重視する	768	42.0%
	どちらともいえない	464	25.4%
	あまり重視しない	92	5.0%
	重視しない	35	1.9%
	無回答	76	4.2%
③ごみ処理・リサイクル等(収集・処理の充実、リサイクルの促進等) (n=1,832)	重視する	530	28.9%
	やや重視する	808	44.1%
	どちらともいえない	368	20.1%
	あまり重視しない	34	1.9%
	重視しない	12	0.7%
	無回答	80	4.4%
④温暖化対策(低公害車・太陽光等)の導入 (n=1,831)	重視する	267	14.6%
	やや重視する	534	29.2%
	どちらともいえない	810	44.2%
	あまり重視しない	94	5.1%
	重視しない	35	1.9%
	無回答	91	5.0%
⑤し尿処理(適切な収集・処理の推進)の状況 (n=1,832)	重視する	316	17.2%
	やや重視する	528	28.8%
	どちらともいえない	787	43.0%
	あまり重視しない	71	3.9%
	重視しない	28	1.5%
	無回答	102	5.6%
⑥上水道(安全・安心な水の安定供給の確保)の状況 (n=1,832)	重視する	604	33.0%
	やや重視する	646	35.3%
	どちらともいえない	438	23.9%
	あまり重視しない	47	2.6%
	重視しない	17	0.9%
	無回答	80	4.4%
⑦下水道の整備(公共下水道の整備、浄化槽の普及等) (n=1,832)	重視する	549	30.0%
	やや重視する	633	34.6%
	どちらともいえない	497	27.1%
	あまり重視しない	63	3.4%
	重視しない	13	0.7%
	無回答	77	4.2%

⑧地震等防災体制(自主防災組織の育成、情報伝達の充実、危険箇所整備等)	重視する	628	34.3%
	やや重視する	630	34.4%
	どちらともいえない	437	23.9%
	あまり重視しない	40	2.2%
	重視しない	16	0.9%
	(n=1,830) 無回答	79	4.3%
⑨消防・救急体制(広域消防・救急の充実、消防団の充実等)	重視する	524	28.6%
	やや重視する	681	37.2%
	どちらともいえない	503	27.5%
	あまり重視しない	32	1.7%
	重視しない	10	0.5%
	(n=1,832) 無回答	82	4.5%
⑩交通安全体制(意識啓発の推進、交通安全施設の整備等)	重視する	408	22.3%
	やや重視する	669	36.5%
	どちらともいえない	602	32.9%
	あまり重視しない	55	3.0%
	重視しない	21	1.1%
	(n=1,832) 無回答	77	4.2%
⑪防犯体制(意識啓発の推進、防犯・パトロール活動の促進等)	重視する	476	26.0%
	やや重視する	684	37.3%
	どちらともいえない	529	28.9%
	あまり重視しない	45	2.5%
	重視しない	17	0.9%
	(n=1,832) 無回答	81	4.4%
⑫墓地・火葬場の整備	重視する	326	17.8%
	やや重視する	537	29.3%
	どちらともいえない	772	42.1%
	あまり重視しない	84	4.6%
	重視しない	31	1.7%
	(n=1,832) 無回答	82	4.5%
⑬土地利用(秩序ある適正な土地利用への規制・誘導等)の状況	重視する	217	11.9%
	やや重視する	453	24.7%
	どちらともいえない	973	53.1%
	あまり重視しない	60	3.3%
	重視しない	23	1.3%
	(n=1,831) 無回答	105	5.7%
⑭景観(柴田町らしい美しい景観や街並み等)づくりの状況	重視する	341	18.6%
	やや重視する	687	37.5%
	どちらともいえない	565	30.8%
	あまり重視しない	106	5.8%
	重視しない	48	2.6%
	(n=1,832) 無回答	85	4.6%

⑮住宅施策(良質な住宅の建設促進、良好な住宅地の形成等)の状況 (n=1,831)	重視する	217	11.9%
	やや重視する	567	31.0%
	どちらともいえない	826	45.1%
	あまり重視しない	98	5.4%
	重視しない	31	1.7%
	無回答	92	5.0%
⑯道路(国道、県道、町道)の整備 (n=1,831)	重視する	539	29.4%
	やや重視する	730	39.9%
	どちらともいえない	422	23.0%
	あまり重視しない	44	2.4%
	重視しない	22	1.2%
	無回答	74	4.0%
⑰公共交通機関(JR、阿武隈急行、デマンド型乗合タクシー)の状況 (n=1,832)	重視する	526	28.7%
	やや重視する	621	33.9%
	どちらともいえない	553	30.2%
	あまり重視しない	48	2.6%
	重視しない	17	0.9%
	無回答	67	3.7%
⑱情報基盤(インターネット環境等)の整備 (n=1,832)	重視する	259	14.1%
	やや重視する	476	26.0%
	どちらともいえない	889	48.5%
	あまり重視しない	79	4.3%
	重視しない	33	1.8%
	無回答	96	5.2%

(3) 産業振興の分野

産業振興の分野は、分野全体の満足度が低い傾向にあり、産業の分野を問わず振興対策が必要となっています。

全施策のなかでも『商業振興の状況』、『雇用対策の状況』は満足度が低く、重要度が高い項目となっています。

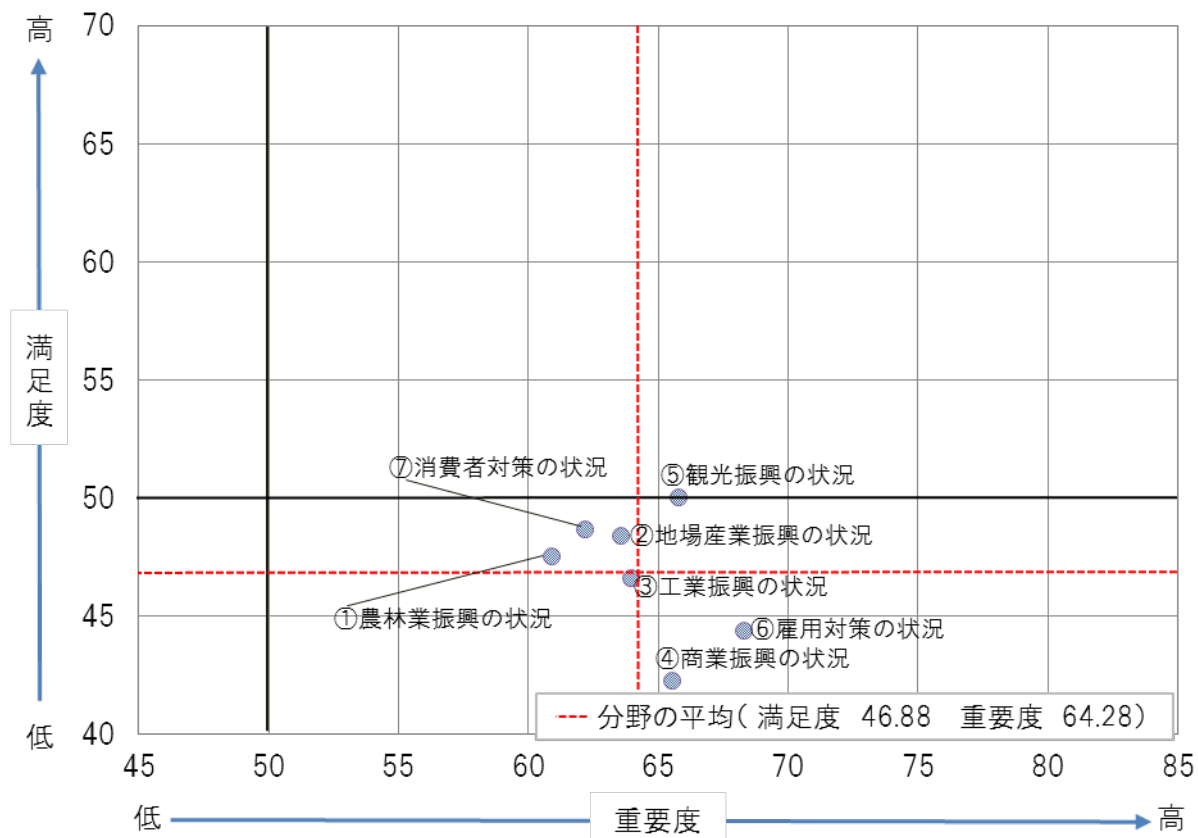


図 6-3-1 産業振興分野の満足度×重要度

表 6-3-1 産業振興分野の満足度，重要度，その差

施策内容	満足度指数	重要度指数	重要度と満足度の差
①農林業振興(担い手の育成、生産性向上、農地の整備、森林保全等)の状況	47.55	60.85	13.30
②地場産業振興(商品のブランド化、産直活動推進)の状況	48.43	63.52	15.09
③工業振興(既存企業の経営改善、企業の誘致、新産業の育成等)の状況	46.64	63.94	17.30
④商業振興(商店経営の改善、商業集積づくりの推進等)の状況	42.30	65.49	23.19
⑤観光振興(観光資源の開発・活用、PR活動の充実等)の状況	50.06	65.74	15.68
⑥雇用対策(相談・情報提供の充実、雇用機会の向上等)の状況	44.43	68.28	23.84
⑦消費者対策(トラブル防止・解消のための啓発・相談の充実等)の状況	48.72	62.17	13.45

1) 満足度

産業振興の分野は、分野全体としての満足度が低くなっています。「満足している」、「どちらかといえば満足している」をあわせた回答が最も多い項目は、『観光振興の状況』（23.1%）となっています。

「どちらかといえば不満である」、「不満である」をあわせた回答が多い項目は、『商業振興の状況』（31.3%）、『雇用対策の状況』（23.9%）などとなっています。

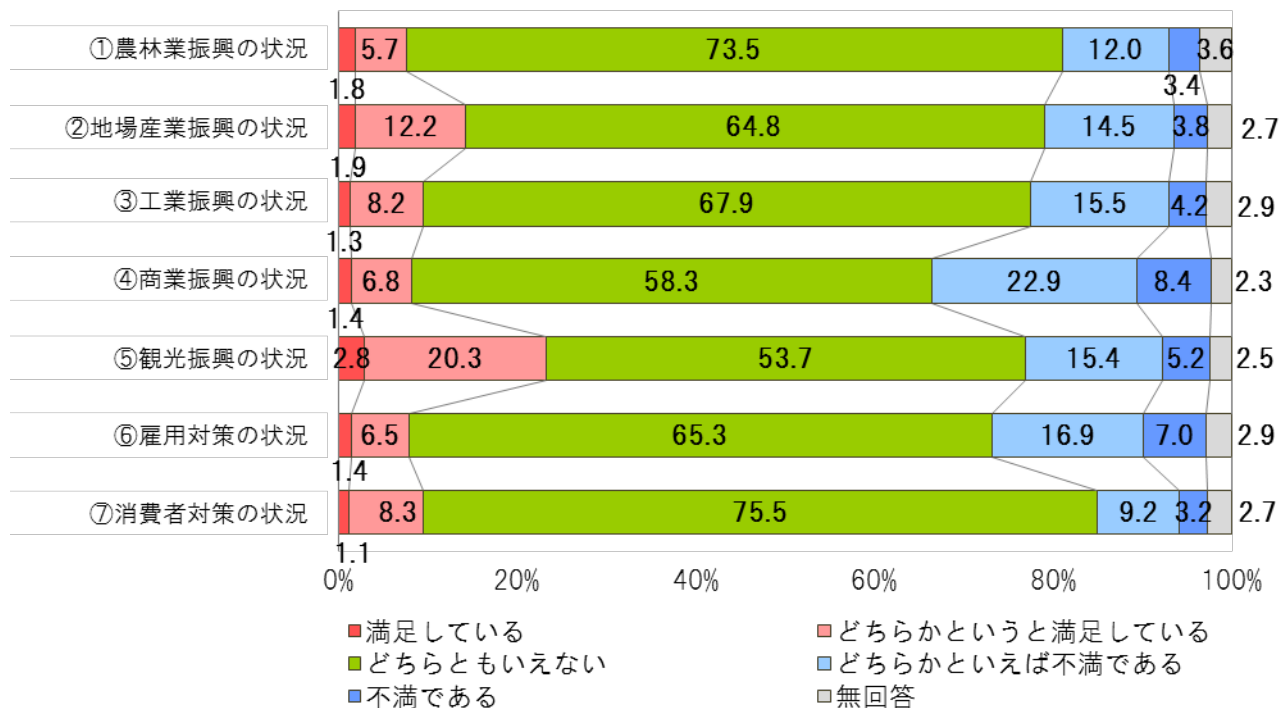


図 6-3-2 産業振興分野の満足度

表 6-3-2 産業振興分野の満足度

施策内容	項目名	回答数	割合(%)
①保健サービス提供体制(健康診査、健康相談の充実、健康づくりの充実等) (n=1,832)	満足している	33	1.8%
	どちらかといえば満足している	105	5.7%
	どちらともいえない	1,346	73.5%
	どちらかといえば不満である	220	12.0%
	不満である	62	3.4%
	無回答	66	3.6%
②医療体制(地域医療体制の充実、救急医療体制の充実等) (n=1,832)	満足している	35	1.9%
	どちらかといえば満足している	224	12.2%
	どちらともいえない	1,188	64.8%
	どちらかといえば不満である	266	14.5%
	不満である	70	3.8%
	無回答	49	2.7%
③地域福祉体制(地域における福祉活動の促進、福祉ボランティアの育成等) (n=1,831)	満足している	23	1.3%
	どちらかといえば満足している	151	8.2%
	どちらともいえない	1,244	67.9%
	どちらかといえば不満である	284	15.5%
	不満である	76	4.2%
	無回答	53	2.9%
④高齢者支援体制(福祉・介護サービスの充実、生きがい対策の充実等) (n=1,832)	満足している	25	1.4%
	どちらかといえば満足している	124	6.8%
	どちらともいえない	1,068	58.3%
	どちらかといえば不満である	419	22.9%
	不満である	153	8.4%
	無回答	43	2.3%
⑤障害者支援体制(障害者への福祉サービスの充実、社会参加の促進等) (n=1,830)	満足している	52	2.8%
	どちらかといえば満足している	372	20.3%
	どちらともいえない	983	53.7%
	どちらかといえば不満である	282	15.4%
	不満である	95	5.2%
	無回答	46	2.5%
⑥バリアフリー化(段差の解消、だれもが使いやすい施設の整備等) (n=1,832)	満足している	25	1.4%
	どちらかといえば満足している	119	6.5%
	どちらともいえない	1,197	65.3%
	どちらかといえば不満である	309	16.9%
	不満である	128	7.0%
	無回答	54	2.9%
⑦子育て支援体制(保育・相談の充実、交流場の提供、子ども医療費助成等) (n=1,832)	満足している	21	1.1%
	どちらかといえば満足している	152	8.3%
	どちらともいえない	1,383	75.5%
	どちらかといえば不満である	169	9.2%
	不満である	58	3.2%
	無回答	49	2.7%

2) 重要度

全体的に「重視する」「やや重視する」という回答が多くなっており、『雇用対策の状況』(52.9%),『観光振興の状況』(51.6%),『商業振興の状況』(49.7%)は、分野において重要度の高い項目となっています。

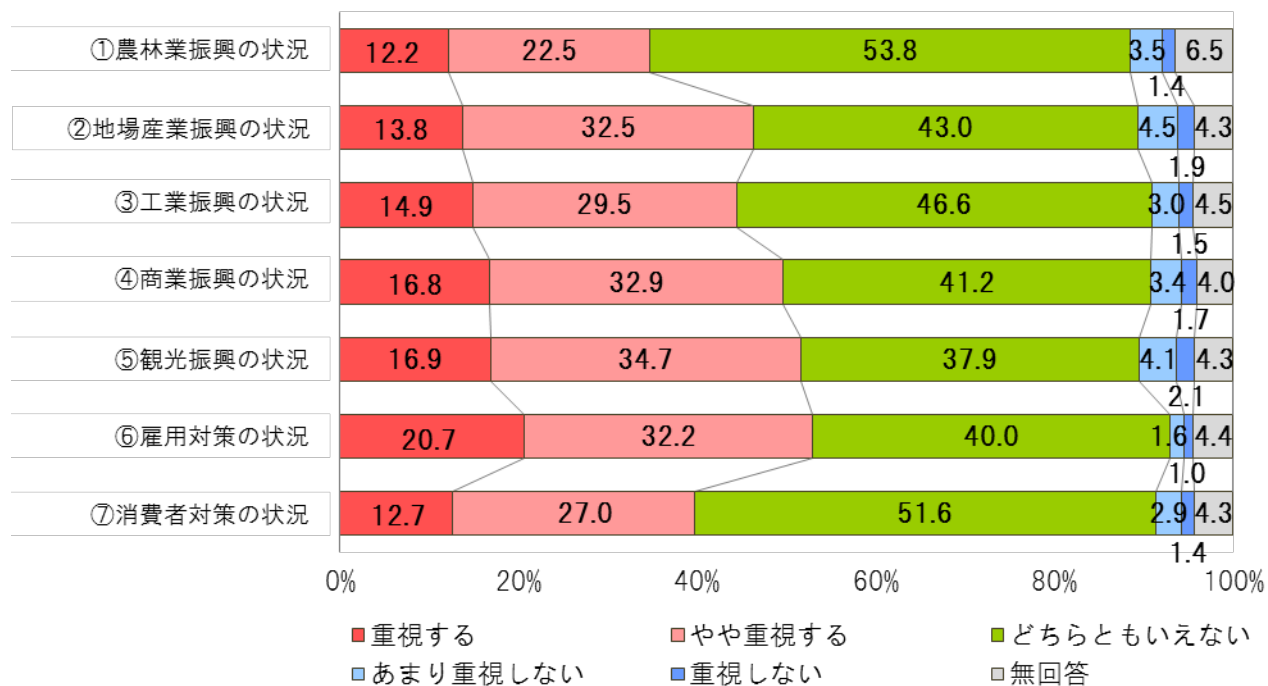


図 6-3-3 産業振興分野の重要度

表 6-3-3 産業振興分野の重要度

施策内容	項目名	回答数	割合(%)
①保健サービス提供体制(健康診査、健康相談の充実、健康づくりの充実等) (n=1,831)	重視する	224	12.2%
	やや重視する	412	22.5%
	どちらともいえない	985	53.8%
	あまり重視しない	65	3.5%
	重視しない	26	1.4%
	無回答	119	6.5%
②医療体制(地域医療体制の充実、救急医療体制の充実等) (n=1,832)	重視する	252	13.8%
	やや重視する	596	32.5%
	どちらともいえない	788	43.0%
	あまり重視しない	82	4.5%
	重視しない	35	1.9%
	無回答	79	4.3%
③地域福祉体制(地域における福祉活動の促進、福祉ボランティアの育成等) (n=1,832)	重視する	273	14.9%
	やや重視する	541	29.5%
	どちらともいえない	853	46.6%
	あまり重視しない	55	3.0%
	重視しない	28	1.5%
	無回答	82	4.5%
④高齢者支援体制(福祉・介護サービスの充実、生きがい対策の充実等) (n=1,832)	重視する	307	16.8%
	やや重視する	603	32.9%
	どちらともいえない	754	41.2%
	あまり重視しない	63	3.4%
	重視しない	32	1.7%
	無回答	73	4.0%
⑤障害者支援体制(障害者への福祉サービスの充実、社会参加の促進等) (n=1,832)	重視する	310	16.9%
	やや重視する	636	34.7%
	どちらともいえない	694	37.9%
	あまり重視しない	76	4.1%
	重視しない	38	2.1%
	無回答	78	4.3%
⑥バリアフリー化(段差の解消、だれもが使いやすい施設の整備等) (n=1,832)	重視する	379	20.7%
	やや重視する	590	32.2%
	どちらともいえない	733	40.0%
	あまり重視しない	30	1.6%
	重視しない	19	1.0%
	無回答	81	4.4%
⑦子育て支援体制(保育・相談の充実、交流場の提供、子ども医療費助成等) (n=1,831)	重視する	232	12.7%
	やや重視する	495	27.0%
	どちらともいえない	945	51.6%
	あまり重視しない	54	2.9%
	重視しない	26	1.4%
	無回答	79	4.3%

(4) 教育・文化・スポーツの分野

教育・文化・スポーツの分野は、各項目の満足度が平均に近く、重要度により分散する傾向がみられました。分野内での重要度が特に高い項目は、「学校教育環境の整備」となっています。

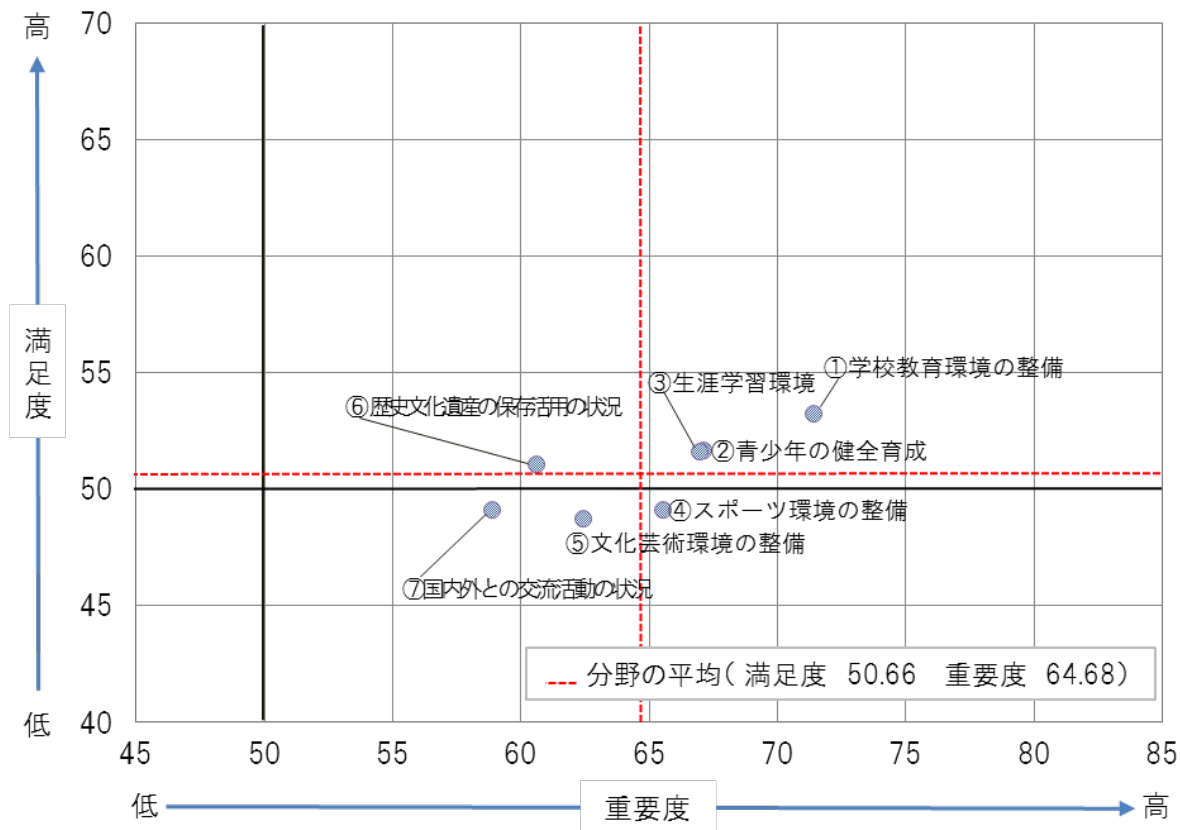


図 6-4-1 教育・文化・スポーツ分野の満足度×重要度

表 6-4-1 教育・文化・スポーツ分野の満足度×重要度

施策内容	満足度指数	重要度指数	重要度と満足度の差
①学校教育環境(教育内容の充実、施設の充実等)の整備	53.27	71.36	18.09
②青少年の健全育成(健全育成体制の充実、自主的活動の促進等)	51.68	67.11	15.43
③生涯学習環境(推進体制の充実、学習機会・場の充実等)の整備	51.62	66.93	15.31
④スポーツ環境(スポーツ団体の育成、施設の充実等)の整備	49.11	65.50	16.39
⑤文化芸術環境(文化団体の育成、施設の充実等)の整備	48.75	62.41	13.67
⑥歴史文化遺産(史跡・伝統芸能等)の保存・活用の状況	51.07	60.59	9.53
⑦国内外との交流活動(国内・国際交流活動・情報の発信等)の状況	49.15	58.85	9.71

1) 満足度

各項目ともに、「どちらともいえない」という回答が最も多くなっています。「満足している」、「どちらかといえば満足している」をあわせた回答が最も多い項目は、『学校教育環境の整備』(26.7%)となっています。

「どちらかといえば不満である」、「不満である」をあわせた回答が多い項目は、『スポーツ環境の整備』(18.7%),『文化芸術環境の整備』(16.5%)などとなっています。

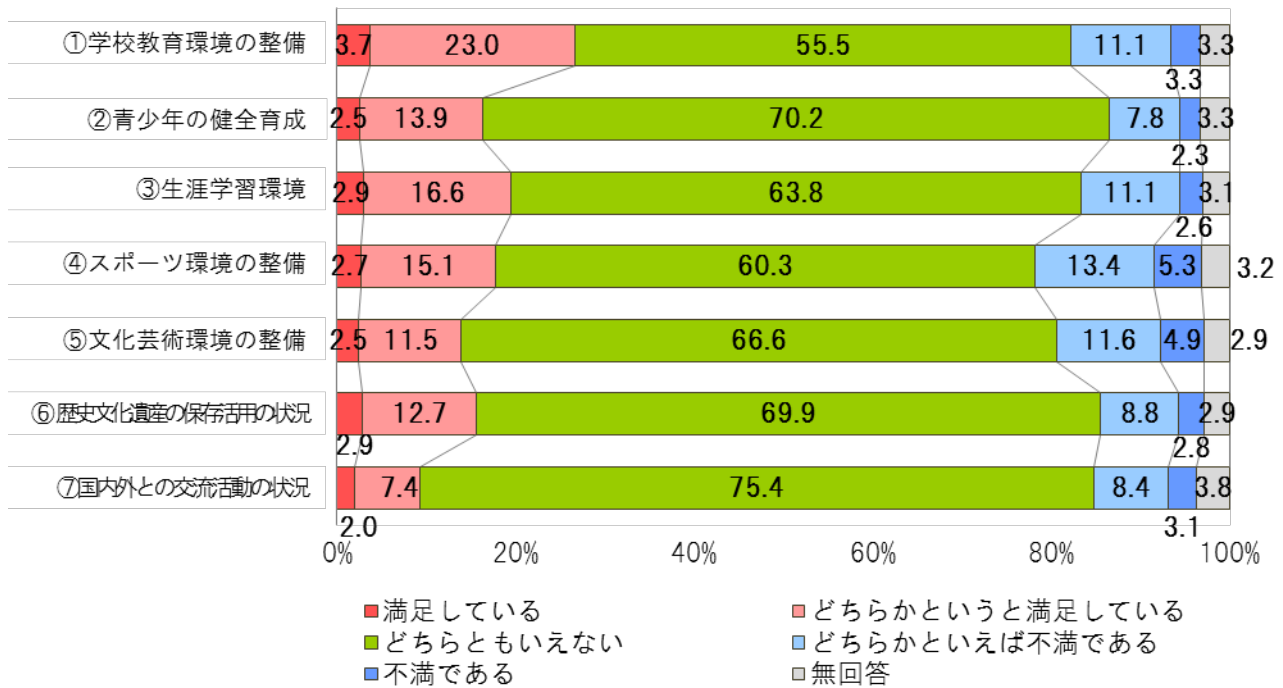


図 6-4-2 教育・文化・スポーツ分野の満足度

表 6-4-2 教育・文化・スポーツ分野の満足度

施策内容	項目名	回答数	割合(%)
①学校教育環境(教育内容の充実、施設の充実等)の整備 (n=1,832)	満足している	68	3.7%
	どちらかといえば満足している	422	23.0%
	どちらともいえない	1,017	55.5%
	どちらかといえば不満である	204	11.1%
	不満である	61	3.3%
	無回答	60	3.3%
②青少年の健全育成(健全育成体制の充実、自主的活動の促進等) (n=1,832)	満足している	46	2.5%
	どちらかといえば満足している	254	13.9%
	どちらともいえない	1,286	70.2%
	どちらかといえば不満である	143	7.8%
	不満である	42	2.3%
	無回答	61	3.3%
③生涯学習環境(推進体制の充実、学習機会・場の充実等)の整備 (n=1,832)	満足している	54	2.9%
	どちらかといえば満足している	304	16.6%
	どちらともいえない	1,168	63.8%
	どちらかといえば不満である	203	11.1%
	不満である	47	2.6%
	無回答	56	3.1%
④スポーツ環境(スポーツ団体の育成、施設の充実等)の整備 (n=1,832)	満足している	50	2.7%
	どちらかといえば満足している	276	15.1%
	どちらともいえない	1,105	60.3%
	どちらかといえば不満である	245	13.4%
	不満である	97	5.3%
	無回答	59	3.2%
⑤文化芸術環境(文化団体の育成、施設の充実等)の整備 (n=1,832)	満足している	45	2.5%
	どちらかといえば満足している	211	11.5%
	どちらともいえない	1,221	66.6%
	どちらかといえば不満である	212	11.6%
	不満である	89	4.9%
	無回答	54	2.9%
⑥歴史文化遺産(史跡・伝統芸能等)の保存・活用の状況 (n=1,832)	満足している	53	2.9%
	どちらかといえば満足している	233	12.7%
	どちらともいえない	1,280	69.9%
	どちらかといえば不満である	161	8.8%
	不満である	51	2.8%
	無回答	54	2.9%
⑦国内外との交流活動(国内・国際交流活動・情報の発信等)の状況 (n=1,832)	満足している	36	2.0%
	どちらかといえば満足している	135	7.4%
	どちらともいえない	1,382	75.4%
	どちらかといえば不満である	153	8.4%
	不満である	57	3.1%
	無回答	69	3.8%

2) 重要度

「重視する」と「やや重視する」をあわせた回答が多い項目は、『学校教育環境の整備』(60.8%)，『生涯学習環境の整備』(51.8%)，『青少年の健全育成』(50.6%) などとなっており，分野において重要度の高い項目であることがうかがえます。

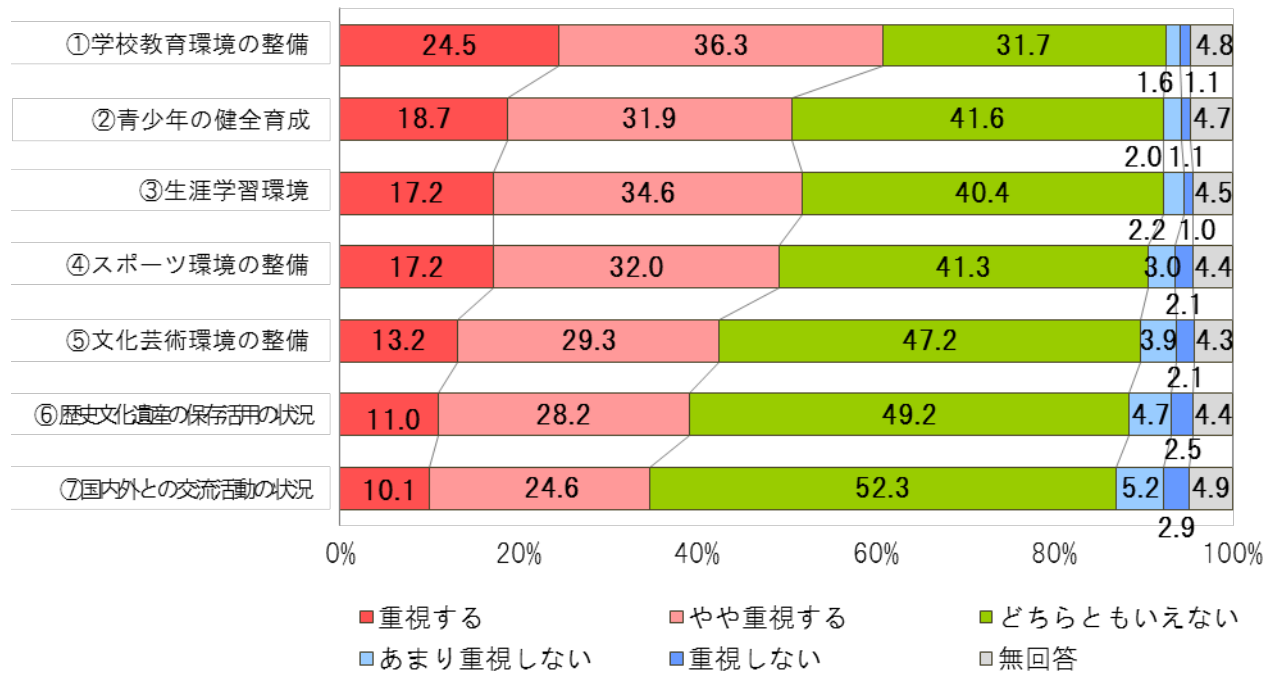


図 6-4-3 教育・文化・スポーツ分野の重要度

表 6-4-3 教育・文化・スポーツ分野の重要度

施策内容	項目名	回答数	割合(%)
①学校教育環境(教育内容の充実、施設の充実等)の整備 (n=1,831)	重視する	449	24.5%
	やや重視する	664	36.3%
	どちらともいえない	580	31.7%
	あまり重視しない	30	1.6%
	重視しない	21	1.1%
	無回答	87	4.8%
②青少年の健全育成(健全育成体制の充実、自主的活動の促進等) (n=1,831)	重視する	343	18.7%
	やや重視する	584	31.9%
	どちらともいえない	762	41.6%
	あまり重視しない	36	2.0%
	重視しない	20	1.1%
	無回答	86	4.7%
③生涯学習環境(推進体制の充実、学習機会・場の充実等)の整備 (n=1,832)	重視する	315	17.2%
	やや重視する	634	34.6%
	どちらともいえない	741	40.4%
	あまり重視しない	41	2.2%
	重視しない	19	1.0%
	無回答	82	4.5%
④スポーツ環境(スポーツ団体の育成、施設の充実等)の整備 (n=1,831)	重視する	315	17.2%
	やや重視する	586	32.0%
	どちらともいえない	756	41.3%
	あまり重視しない	55	3.0%
	重視しない	38	2.1%
	無回答	81	4.4%
⑤文化芸術環境(文化団体の育成、施設の充実等)の整備 (n=1,832)	重視する	242	13.2%
	やや重視する	537	29.3%
	どちらともいえない	864	47.2%
	あまり重視しない	72	3.9%
	重視しない	39	2.1%
	無回答	78	4.3%
⑥歴史文化遺産(史跡・伝統芸能等)の保存・活用の状況 (n=1,832)	重視する	201	11.0%
	やや重視する	517	28.2%
	どちらともいえない	901	49.2%
	あまり重視しない	87	4.7%
	重視しない	45	2.5%
	無回答	81	4.4%
⑦国内外との交流活動(国内・国際交流活動・情報の発信等)の状況 (n=1,831)	重視する	185	10.1%
	やや重視する	450	24.6%
	どちらともいえない	958	52.3%
	あまり重視しない	95	5.2%
	重視しない	54	2.9%
	無回答	89	4.9%

(5) 町民参加・行財政改革の分野

町民参加・行財政改革の分野では、各項目の満足度，重要度ともに平均に近くなっています。

「行財政改革に関する取り組みの状況」，「広域的な連携によるまちづくりの状況」といった行財政に関する項目は，満足度が低く，重要度が高い項目として取り組みが求められています。

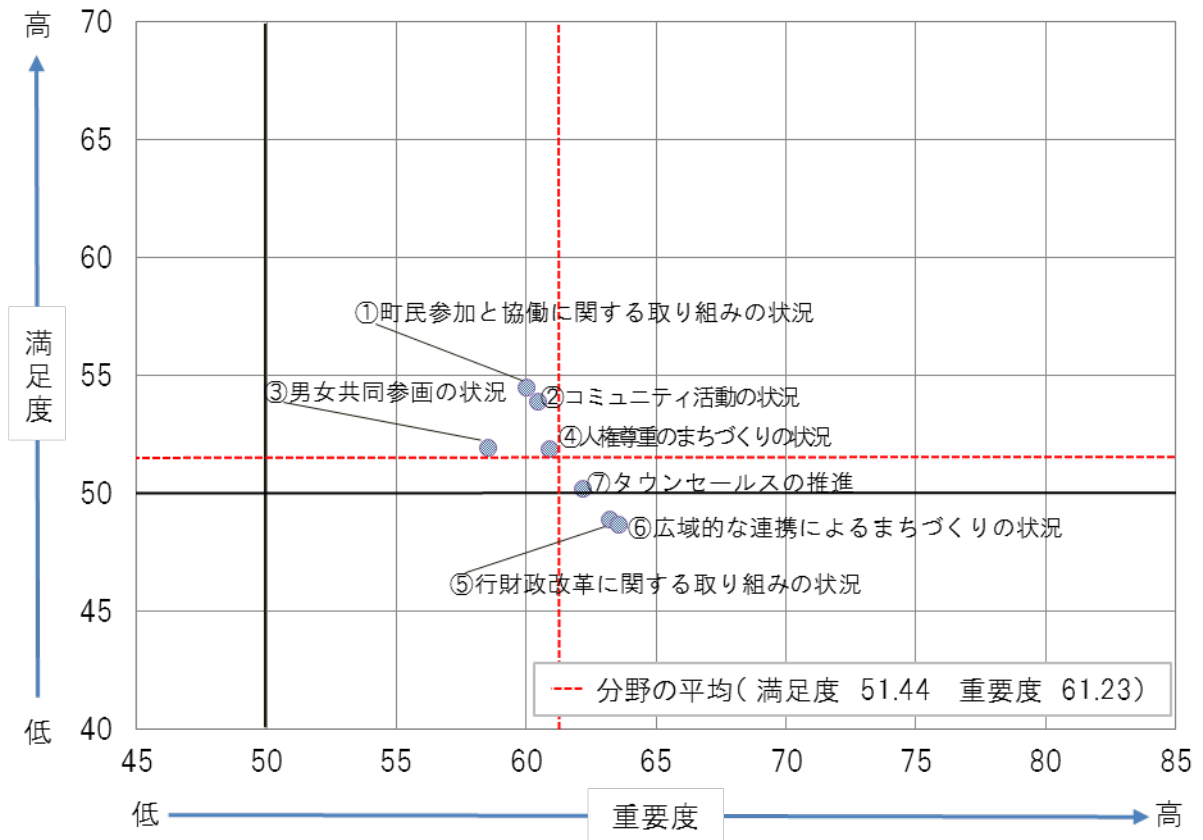


図 6-5-1 町民参加・行財政改革分野の満足度×重要度

表 6-5-1 町民参加・行財政改革分野の満足度，重要度，その差

施策内容	満足度指数	重要度指数	重要度と満足度の差
① 町民参加と協働に関する取り組み（広報・広聴、町民活動の支援等）の状況	54.51	59.99	5.47
② コミュニティ活動（身近な地域や町内会等における共同活動）の状況	53.90	60.41	6.51
③ 男女共同参画（男性も女性も等しく社会参画できる環境づくり等）の状況	51.97	58.48	6.52
④ 人権尊重のまちづくり（人権教育・啓発の推進等）の状況	51.89	60.88	9.00
⑤ 行財政改革に関する取り組み（組織や事務事業の見直し等）の状況	48.93	63.17	14.25
⑥ 広域的な連携（周辺の市町との連携・協力）によるまちづくりの状況	48.67	63.52	14.85
⑦ タウンセールス（イベント情報の提供・イメージアップづくり等）の推進	50.20	62.14	11.95

1) 満足度

各項目で、「どちらともいえない」という回答が最も多くなっており、いずれも回答の6～7割を占めています。

町民参加・行財政改革分野の中で、「満足している」、「どちらかといえば満足している」をあわせた満足度が最も高い項目は、『コミュニティ活動の状況』(24.2%)となっています。また、「どちらかといえば不満である」、「不満である」をあわせた満足度の低い項目は、『行財政改革に関する取り組みの状況』(16.2%)、『タウンセールスの推進』(15.3%)などとなっています。

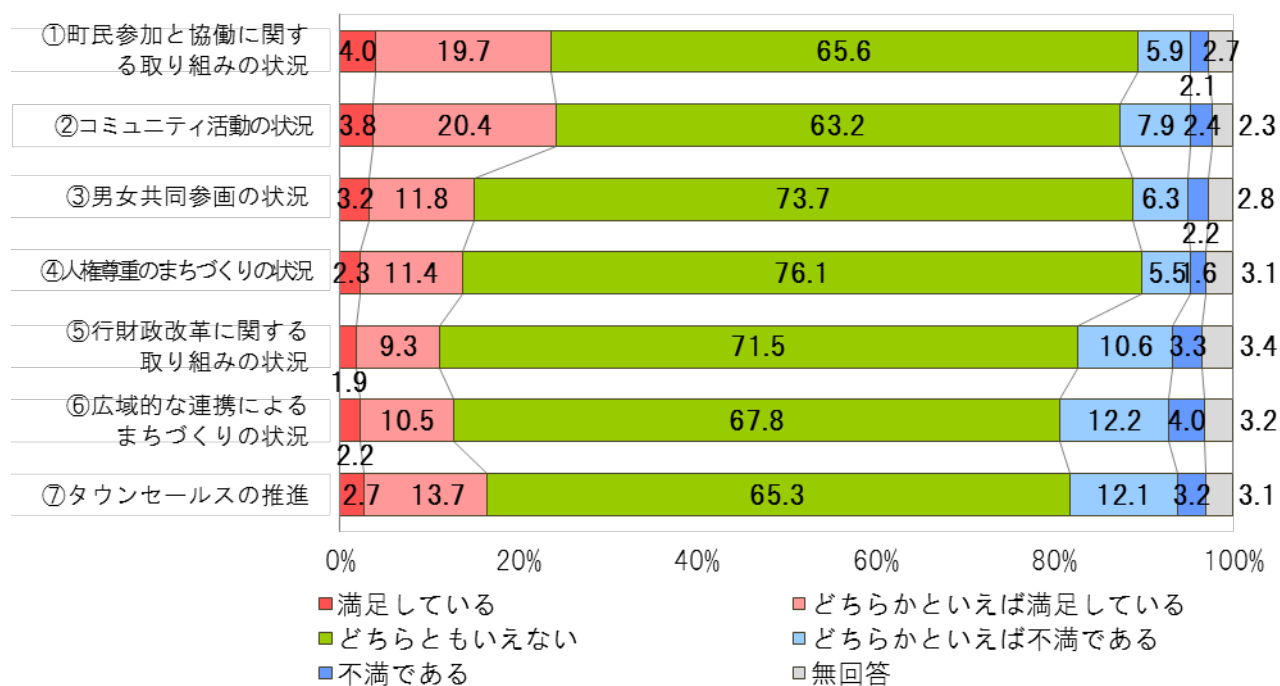


図 6-5-2 町民参加・行財政改革分野の満足度

表 6-5-2 町民参加・行財政改革分野の満足度

施策内容	項目名	回答数	割合(%)
①町民参加と協働に関する取り組み(広報・広聴、町民活動の支援等)の状況 (n=1,832)	満足している	73	4.0%
	どちらかといえば満足している	361	19.7%
	どちらともいえない	1,202	65.6%
	どちらかといえば不満である	109	5.9%
	不満である	38	2.1%
	無回答	49	2.7%
②コミュニティ活動(身近な地域や町内会等における共同活動)の状況 (n=1,832)	満足している	69	3.8%
	どちらかといえば満足している	374	20.4%
	どちらともいえない	1,157	63.2%
	どちらかといえば不満である	145	7.9%
	不満である	44	2.4%
	無回答	43	2.3%
③男女共同参画(男性も女性も等しく社会参画できる環境づくり等)の状況 (n=1,832)	満足している	59	3.2%
	どちらかといえば満足している	217	11.8%
	どちらともいえない	1,350	73.7%
	どちらかといえば不満である	115	6.3%
	不満である	40	2.2%
	無回答	51	2.8%
④人権尊重のまちづくり(人権教育・啓発の推進等)の状況 (n=1,832)	満足している	43	2.3%
	どちらかといえば満足している	208	11.4%
	どちらともいえない	1,395	76.1%
	どちらかといえば不満である	100	5.5%
	不満である	30	1.6%
	無回答	56	3.1%
⑤行財政改革に関する取り組み(組織や事務事業の見直し等)の状況 (n=1,832)	満足している	34	1.9%
	どちらかといえば満足している	171	9.3%
	どちらともいえない	1,309	71.5%
	どちらかといえば不満である	195	10.6%
	不満である	60	3.3%
	無回答	63	3.4%
⑥広域的な連携(周辺の市町との連携・協力)によるまちづくりの状況 (n=1,831)	満足している	41	2.2%
	どちらかといえば満足している	193	10.5%
	どちらともいえない	1,242	67.8%
	どちらかといえば不満である	223	12.2%
	不満である	73	4.0%
	無回答	59	3.2%
⑦タウンセールス(イベント情報の提供・イメージアップづくり等)の推進 (n=1,832)	満足している	50	2.7%
	どちらかといえば満足している	251	13.7%
	どちらともいえない	1,196	65.3%
	どちらかといえば不満である	221	12.1%
	不満である	58	3.2%
	無回答	56	3.1%

2) 重要度

「重視する」「やや重視する」を合わせると、『広域的な連携によるまちづくりの状況』(44.9%)、『タウンセールスの推進』(43.0%)、『行財政に関する取り組みの状況』(42.4%)は、分野において重要度の高い取り組みであることがうかがえます。

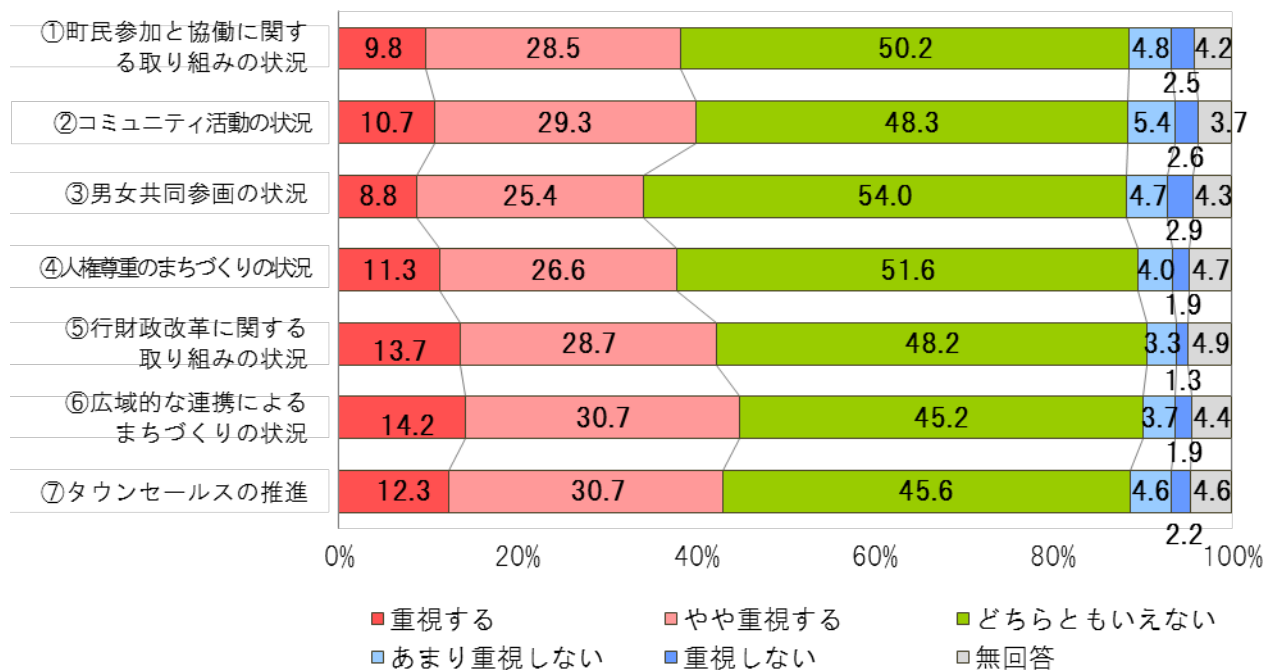


図 6-5-3 町民参加・行財政改革分野の重要度

表 6-5-3 町民参加・行財政改革分野の重要度

施策内容	項目名	回答数	割合(%)
①町民参加と協働に関する取り組み(広報・広聴、町民活動の支援等)の状況 (n=1,832)	重視する	179	9.8%
	やや重視する	523	28.5%
	どちらともいえない	919	50.2%
	あまり重視しない	88	4.8%
	重視しない	46	2.5%
	無回答	77	4.2%
②コミュニティ活動(身近な地域や町内会等における共同活動)の状況 (n=1,831)	重視する	196	10.7%
	やや重視する	536	29.3%
	どちらともいえない	885	48.3%
	あまり重視しない	98	5.4%
	重視しない	48	2.6%
	無回答	68	3.7%
③男女共同参画(男性も女性も等しく社会参画できる環境づくり等)の状況 (n=1,832)	重視する	161	8.8%
	やや重視する	465	25.4%
	どちらともいえない	989	54.0%
	あまり重視しない	86	4.7%
	重視しない	53	2.9%
	無回答	78	4.3%
④人権尊重のまちづくり(人権教育・啓発の推進等)の状況 (n=1,832)	重視する	207	11.3%
	やや重視する	487	26.6%
	どちらともいえない	945	51.6%
	あまり重視しない	73	4.0%
	重視しない	34	1.9%
	無回答	86	4.7%
⑤行財政改革に関する取り組み(組織や事務事業の見直し等)の状況 (n=1,831)	重視する	250	13.7%
	やや重視する	526	28.7%
	どちらともいえない	882	48.2%
	あまり重視しない	60	3.3%
	重視しない	24	1.3%
	無回答	89	4.9%
⑥広域的な連携(周辺の市町との連携・協力)によるまちづくりの状況 (n=1,832)	重視する	260	14.2%
	やや重視する	562	30.7%
	どちらともいえない	828	45.2%
	あまり重視しない	67	3.7%
	重視しない	34	1.9%
	無回答	81	4.4%
⑦タウンセールス(イベント情報の提供・イメージアップづくり等)の推進 (n=1,832)	重視する	226	12.3%
	やや重視する	562	30.7%
	どちらともいえない	835	45.6%
	あまり重視しない	85	4.6%
	重視しない	40	2.2%
	無回答	84	4.6%

(6) 将来(8年後)のまちについて

問7. 柴田町は、あなたが住むまちとして、将来(8年後には)どのようなまちになればよいと思いますか。(1つに○)

将来(8年後)のまちについて、『風水害や地震などの災害に強く、犯罪のない住環境が整備された安全・安心なまち』(22.8%)を望む意向が最も多く、次いで『人にやさしい保健・医療・福祉が充実した健康・福祉のまち』(22.3%)、『交通や買い物などの生活利便性を重視したコンパクトなまち』(15.3%)の回答が多くなっています。

表 7-1 問7に関する全体集計結果

n=1,777

項目名	人数	割合(%)
自然と共生した中で、美しい自然景観を大切にしたい <u>環境共生のまち</u>	125	7.0
交通や買い物などの生活利便性を重視した <u>コンパクトなまち</u>	271	15.3
風水害や地震などの災害に強く、犯罪のない住環境が整備された <u>安全・安心なまち</u>	406	22.8
人にやさしい保健・医療・福祉が充実した <u>健康・福祉のまち</u>	396	22.3
子育て支援や子どもの保育・教育環境が充実した <u>子育て・教育のまち</u>	159	8.9
歴史や伝統を大切に、生涯学習や文化芸術・スポーツ活動が活発な <u>歴史・文化のまち</u>	59	3.3
農林業や商工業の振興、地場産業の育成による <u>多彩な産業が立地するまち</u>	58	3.3
地域資源を活用し、観光やイベント・交流事業を進める <u>観光・交流のまち</u>	43	2.4
地域の助け合いやボランティア活動が盛んな <u>コミュニティの活発なまち</u>	53	3.0
町民と行政とが協力してまちづくりを行う <u>参加と協働のまち</u>	46	2.6
生活道路・住宅・公園が整備された <u>快適な都市空間のまち</u>	118	6.6
その他	24	1.4
無回答	19	1.1

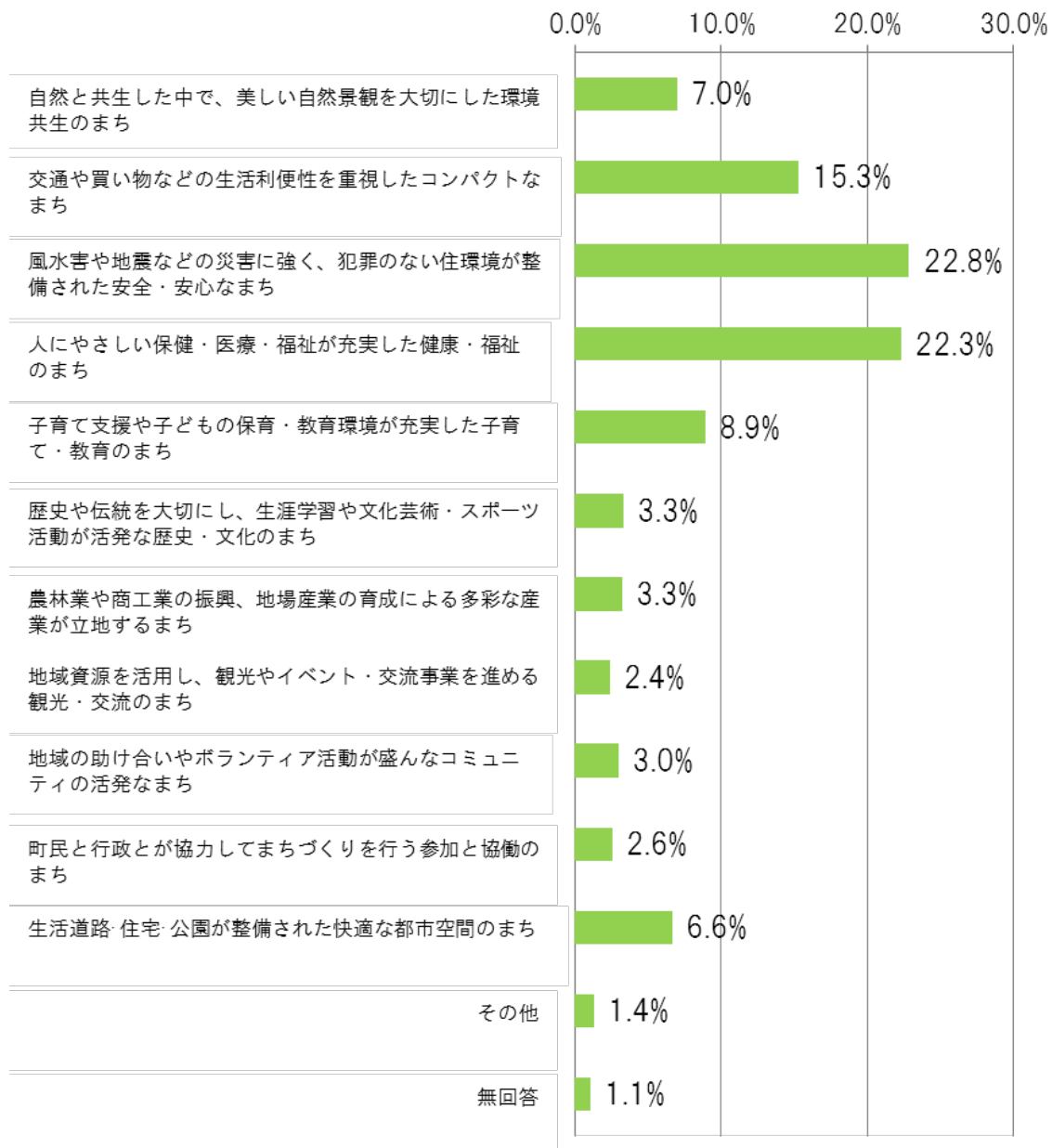


図 7-1 問 7 に関する全体集計結果

表 7-2 問 7 に関する年代別上位 3 項目

項目名	1 位	2 位	3 位
10 代 (n=32)	環境共生のまち (15.6%)	コンパクトなまち (15.6%)	快適な都市空間のまち (15.6%)
20 代 (n=146)	子育て・教育のまち (26.0%)	コンパクトなまち (20.5%)	安全・安心なまち (14.4%)
30 代 (n=229)	子育て・教育のまち (26.6%)	安全・安心なまち (20.1%)	コンパクトなまち (14.4%)
40 代 (n=264)	安全・安心なまち (24.2%)	健康・福祉のまち (18.9%)	コンパクトなまち (15.5%)
50 代 (n=265)	安全・安心なまち (24.9%)	健康・福祉のまち (23.4%)	コンパクトなまち (15.1%)
60 代 (n=531)	健康・福祉のまち (27.3%)	安全・安心なまち (25.8%)	コンパクトなまち (13.6%)
70 歳以上 (n=309)	健康・福祉のまち (30.1%)	安全・安心なまち (22.3%)	コンパクトなまち (16.2%)

表 7-3 問 7 に関する居住区別上位 3 項目

項目名	1 位	2 位	3 位
船岡小学校区 (n=485)	健康・福祉のまち (24.1%)	安全・安心なまち (19.0%)	コンパクトなまち (17.1%)
東船岡小学校区 (n=258)	安全・安心なまち (24.0%)	健康・福祉のまち (18.6%)	子育て・教育のまち (12.4%)
槻木小学校区 (n=474)	安全・安心なまち (25.1%)	健康・福祉のまち (20.0%)	コンパクトなまち (19.2%)
柴田小学校区 (n=69)	安全・安心なまち (23.6%)	コンパクトなまち, 健康・福祉のまち (同率 2 位)(18.8%)	
船迫小学校区 (n=374)	健康・福祉のまち (26.5%)	安全・安心なまち (22.2%)	コンパクトなまち (12.0%)
西住小学校区 (n=78)	安全・安心なまち (30.8%)	健康・福祉のまち (19.2%)	環境共生のまち, コンパクトなまち (同率 3 位)(9.0%)

<その他の回答内容> 無効回答者，欄外回答は含まない。

- ・ 貧困に苦しむ人がいないまち。
- ・ 工場，仕事する所がもっとあればいい 家の近くにも
- ・ 若い方達の働く場を作って下さい
- ・ 働ける仕事，働ける会社，働ける仕事の工場で会社，働ける場所がほしい。働ける会社がほしい。
- ・ 働く世代に優しいまち
- ・ 1，8，10 が重なりあったようなまち
- ・ 上記に記された1～11の項目の内容が程よく実現されたバランスがとれた町
- ・ どれかひとつでなくバランス良く全部がある“まち”であれば良いです。
- ・ 生活道路の再考（道路1本で活性されるものが変わる）旧道等が利用出来ないとすたれることもある。活性化された（活気のある）町並
- ・ 農村の生活道の幅を拡張し対向車に安心を
- ・ 仙台市のベッドタウン
- ・ 現在の行政区割りを見直し地域活動の合理性かつ円滑な運営の元，高齢者も子供も住み良い地域⇒〈現在，地域活動が多過ぎ，自分の貴重な時間が奪われている〉
- ・ 柴田町で北部開発が町全体と同じくなるように)
- ・ 町民の意見が反映される行政を求む/公共施設の建設等怠り行政主動に成っていて青写真(元案が出来た後の説明に成っている。そんな訳で最初の段階より呼びかけを求む)
- ・ 団地等も高齢になり，空家が多くなると思う。若い家庭の住みやすい町づくり，高齢者も安心して暮らせるところ行政医療を希む
- ・ 超高齢地域を活かすため，町で会社をお越し高齢者を雇い生きがいとコミュニケーションの場を与える新しいモデルのまち
- ・ 下水道の整備：私の地区のトイレは，汲み取りトイレです。
- ・ 隣接する3町が合併して，交通や文化面を充実させてほしいです。
- ・ 地産地消が推進されたまち
- ・ はねっこアリーナのようなものが必要！
- ・ 8年後のことは分かりません！

(7) これから必要と思う公共施設について

問8. あなたは、これからの柴田町に、どのような公共施設が必要と思いますか。(2つまで○印)

必要と思う公共施設については、『高齢者拠点施設』を望む声が34.8%と最も多くなっており、次いで『道の駅』(27.6%)、『体育館』(20.0%)などとなっています

表8-1 問8に関する全体集計

n=1,831

項目名	人数	割合(%)
体育館	367	20.0
図書館	354	19.3
高齢者拠点施設	638	34.8
新庁舎建設	224	12.2
児童館	170	9.3
陸上競技場	68	3.7
武道館	33	1.8
道の駅	505	27.6
その他(具体的に必要な公共施設名:)	175	9.6
新たな公共施設は必要ない	263	14.4
無回答	256	14.0

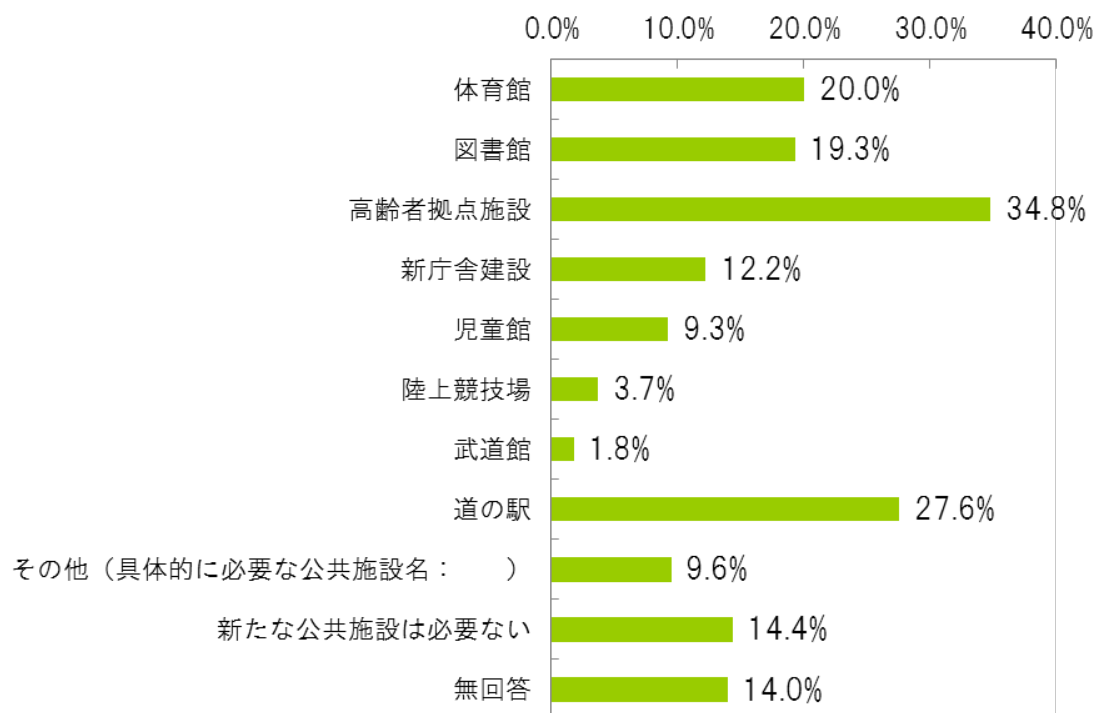


図8-1 問8に関する全体集計結果

表 8-2 問 8 に関する年代別上位 3 項目

項目名	1 位	2 位	3 位
10 代 (n=33)	体育館 (42.4%)	図書館 (33.3%)	高齢者拠点施設 (18.2%)
20 代 (n=151)	道の駅 (31.8%)	図書館 (25.8%)	児童館 (20.5%)
30 代 (n=232)	道の駅 (23.7%)	体育館 , 児童館(20.3%)(同率 2 位)	
40 代 (n=272)	道の駅 (29.4%)	体育館 (25.0%)	高齢者拠点施設 (23.2%)
50 代 (n=267)	高齢者拠点施設 (35.2%)	道の駅 (33.0%)	体育館 , 図書館 (同率 3 位)(20.6%)
60 代 (n=554)	高齢者拠点施設 (44.2%)	道の駅 (26.4%)	図書館 (17.9%)
70 歳以上 (n=321)	高齢者拠点施設 (50.8%)	道の駅 (26.5%)	体育館 (20.2%)

表 8-3 問 8 に関する居住区別上位 3 項目

項目名	1 位	2 位	3 位
船岡小学校区 (n=499)	高齢者拠点施設 (33.1%)	道の駅 (26.9%)	体育館 (23.4%)
東船岡小学校区 (n=269)	高齢者拠点施設 (34.2%)	体育館 (27.1%)	道の駅 (26.4%)
槻木小学校区 (n=485)	高齢者拠点施設 (33.4%)	道の駅 (28.9%)	図書館 (20.0%)
柴田小学校区 (n=74)	高齢者拠点施設 (56.8%)	道の駅 (25.7%)	新たな公共施設は必要 ない(17.6%)
船迫小学校区 (n=381)	高齢者拠点施設 (35.2%)	道の駅 (28.9%)	図書館 (22.3%)
西住小学校区 (n=81)	高齢者拠点施設 (33.3%)	図書館 (21.0%)	児童館 (18.5%)

<その他の回答内容> ※欄外記載は未集計

- ・ 総合病院（3件）
- ・ 小児科医院
- ・ 介護施設を供えた病院
- ・ 救急病院
- ・ 町立病院
- ・ 病院，保健所
- ・ 医療施設！！内科か皮膚科がほしい…
- ・ 消防署の新設
- ・ 柴田球場付近に JR の駅
- ・ 千桜橋下に駅
- ・ 槻木～船岡間に駅を新設
- ・ 防災公共施設
- ・ 災害時に炊事・洗たく・風呂を利用できる有料施設，人命救助や詐欺対策の訓練をできる無料施設
- ・ 防災拠点となるような施設
- ・ シェルター
- ・ 核シェルターを有した大規模避難が可能な災害拠点施設
- ・ 地下核シェルター
- ・ 核シェルターじゃない？
- ・ 火葬場（2件）
- ・ 共同墓地，火葬場
- ・ 町営共同墓（共同納骨）
- ・ ゴミを持ちこんで一緒に分別してくれるような施設/（大きいものは切断してくれたりできるような）
- ・ リサイクルセンター
- ・ 河川敷の整備
- ・ 河川敷にトイレと，手洗い，水のみ場の設置
- ・ スクールバスを準備してほしい
- ・ 町営バス
- ・ 高齢車の運転事故などが多発する中，施設ではないが花見ちゃん号の充実が必要になるのでは。
- ・ 役場以外で支所をつくってほしい。→役場まで遠いので。
- ・ 区所（4～5区に1区所）
- ・ 役場の駐車場を広く。
- ・ 老朽化した各地区の集会所の整備
- ・ 老朽化した，建物又耐震の為の建替えは必要。
- ・ 老人施設等
- ・ 高齢者がきがるに参加できる場所
- ・ 高齢者の健康増進の遊び場，そして交流の場 福祉施設をみりよくなりたい場所づくり
- ・ 高齢者福祉施設
- ・ 老人ホーム（格安）
- ・ グループホーム
- ・ 認知症介護施設
- ・ 障害児・者サービス 短期入所
- ・ 障がい者が毎日通所したくなるような，作業所の設置を希望します。
- ・ 介護施設，リハビリセンター
- ・ 医療行為があり心身的に思い障がいのある人々がショートステイ，デイサービスが受けられる施設
- ・ 子供食堂の様な場所。
- ・ 生活困窮者など弱者支援施設
- ・ フードバンクとか。/ホームレスのためのシェルターとか
- ・ 給食センター（4件）
- ・ 給食センター（一般人にも提供できる様食堂付で）
- ・ 給食センター：アレルギー対策
- ・ 子ども達が利用できるような居場所となれる場所
- ・ 児童生徒町民学習室
- ・ 小学校6年生まで入れる学童保育
- ・ 小学校6年まで利用できる児童館
- ・ 子育て支援センター
- ・ 槻木地区に子育てセンター
- ・ 屋内の子供の遊び場
- ・ 屋内型遊具施設
- ・ 子どもが遊べる屋内施設
- ・ 室内遊戯場
- ・ 未就学児が雨の日でも遊べる屋内施設
- ・ 認定子供園
- ・ 保育所（15件）
- ・ 保育施設（2件）
- ・ 幼稚園（2件）
- ・ 子育て支援施設
- ・ 0歳もすぐに対応できる保育
- ・ コンサートホールと併設した図書館
- ・ コンサートホール（3件）
- ・ 音楽ホール（4件）
- ・ 音楽ホール（多目的設備も兼ねて）
- ・ 400席程度の音楽ホール
- ・ 大きなイベントができる施設/大人数集められる施設 1,000人以上
- ・ 歌謡ショー・大きなイベントなどが開催できるホールがあればいいと思う。
- ・ イベントホール
- ・ 角田の田園ホールの様な施設
- ・ 文化会館
- ・ 市民（町民）会館
- ・ 総合文化（体育館も兼ねて）施設
- ・ 多目的ホール（3件）
- ・ 多目的ホール（船岡に）
- ・ 公民館，大ホール
- ・ 文化（演劇，音楽）施設
- ・ 芸術ホール（美術館，他）

- ・ 文化センター（大きい）
- ・ 文化センターホール（1000人）規模
- ・ 文化センター（大衆の町民が集まる施設）
- ・ コミュニティセンター/音楽室
- ・ 図書館，子どもの部屋，軽いスポーツができる等，大人のくつろぐ空間が一つの建物の中で，おぎなえる。
- ・ 桜博物館
- ・ 文化芸術施設の充実（現在の槻木生涯学習センターでは
- ・ 博物館，美術館，科学館の類い
- ・ 美術館
- ・ 公園（5件）
- ・ 屋外のアスレチック等
- ・ 遊具のある公園
- ・ たくさんの遊具がある大きい公園
- ・ 緑の広場公園
- ・ 公園と運動場が一体となった施設
- ・ 大きな公園（サッカーや野球がいつでも誰でも使える公園）
- ・ 気軽に運動や遊びができる場所
- ・ BBQ やキャンプが出来る場所
- ・ ドーム球場
- ・ 野球場
- ・ 野球グラウンド
- ・ サッカー場
- ・ サッカー場（しば）
- ・ テニスコート（照明付）
- ・ ナイター設備のあるテニスコート
- ・ パークゴルフ場&クラブハウス
- ・ パークゴルフ場（2件）
- ・ 一般人（学生だけでなく）が利用できるスポーツ施設（運動・健康）
- ・ サイクリングコースの整備
- ・ グランドゴルフ等ができる場
- ・ 軍動ができる所
- ・ ジム（2件）
- ・ 健康の増進とスポーツ（運動）の技能向上を目的とした総合施設，活力が生まれる拠点づくり
- ・ スポーツトレーニング施設
- ・ トレーニングジムみたいな医療ヒが軽減できるしせつ
- ・ トレーニングセンター
- ・ 市民プール，子供達があそべる施設（山形の天童や東根にあるような・・・）
- ・ プール（4件）
- ・ 温水プール
- ・ 温泉（3件）
- ・ 公共温泉
- ・ 温泉施設
- ・ 町営浴場，天然温泉宿泊施設
- ・ プール付き温泉 例：ユラックス熱海（あたま）
- ・ 健康ランド（温泉，ジム，etc）
- ・ 柴田町民サークル施設
- ・ 町民が利用できる温泉施設
- ・ 自由意見で（自由意見：昭和24年生まれの男性です。年金者です。1日楽しく過ごせる，風呂など希望します。岩沼のモンタナリゾートのような施設を・・・）
- ・ 飲食店
- ・ コストコ，イケア，コンサート会場
- ・ 外食できるところも増やしてほしい（ビックリドンキーとか）
- ・ ショッピングモールのなもの
- ・ 名取りにあるようなイオンモール
- ・ ショッピングモール
- ・ イオンモールの強いヤツ！
- ・ 娯楽施設（映画館など）
- ・ 駅を利用した，複合的施設。例えば老人，子供あずかり所，学童保育，地域物産販売など。
- ・ 町営レストラン（地産地消）
- ・ 健康食育を指導するしせつ
- ・ 車道，歩道安全改修利用促進センター（街中を安全に周遊する企画改良を含む）・休憩所設置・通学路整備・歩道改良・防犯灯設置
- ・ 無電柱。②地下道。
- ・ ラジオ局（町民向け）あるいはテレビ局（町民向け）
- ・ シェアハウス 1人でも（助け合って生活がおくれる環境）
- ・ 農村に里の駅/高齢者が作った野菜販売することで健康福祉につながる（医療費の削減）
- ・ 観光関係の施設/案内・企画・交流・物販すべて

2-4. 町民参加(公募委員制度)について

問9. あなたは、町が設置する審議会等に公募委員制度があることをご存知でしたか。(1つに○印)

公募委員制度については『知らなかった』が回答の89.7%を占めており、認知度が低いことがうかがえます。

表 9-1 問 9 に関する全体集計

項目名	回答数	割合(%)
知っていた	178	9.7
知らなかった	1,643	89.7
無回答	11	0.6
合計	1,832	

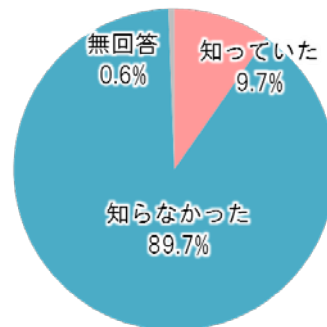


図 9-1 問 9 に関する全体集計

問10.「公募委員候補者登録制度」は、町民参加を促す上で有効だと思いますか。(1つに○印)

制度の有効性に対しては『有効だと思う』が65.3%と過半数が有効だと感じています。

表 10-1 問 10 に関する全体集計

項目名	回答数	割合(%)
有効だと思う	1,197	65.3
有効だと思わない	575	31.4
無回答	60	3.3
合計	1,832	

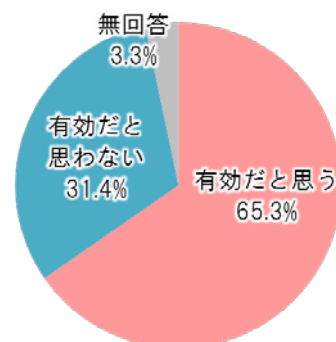


図 10-1 問 10 に関する全体集計

問11. 柴田町が「公募委員登録制度」を実施した場合、あなたは登録簿に登録しますか。(1つに○印)

この制度を実施した際の登録簿への登録意向については『登録しない』の回答が79.8%となっています。

表 11-1 問 11 に関する全体集計

項目名	回答数	割合(%)
登録したい	329	18.0
登録しない	1,462	79.8
無回答	41	2.2
合計	1,832	

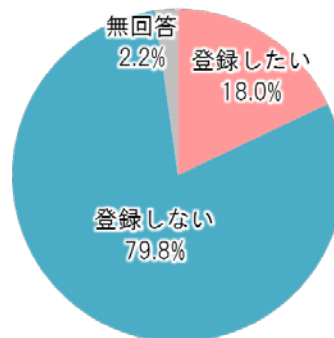


図 11-1 問 11 に関する全体集計